資料５

丸亀市
住民座談会結果報告書

令和７年３月

丸　　亀　　市

丸亀市社会福祉協議会

目次

Ⅰ　住民座談会の概要 …… 1
　1　住民座談会の目的 …… 1
　2　実施期間 …… 1
　3　実施内容 …… 1
Ⅱ　結果 …… 2
　1　各地区住民座談会まとめ …… 2
　　● 城北地区 …… 2
　　● 城西地区 …… 3
　　● 城乾地区 …… 4
　　● 城坤地区 …… 5
　　● 城南地区 …… 6
　　● 土器地区 …… 7
　　● 飯野地区 …… 8
　　● 川西地区 …… 9
　　● 郡家地区 …… 10
　　● 垂水地区 …… 11
　　● 本島地区 …… 12
　　● 広島地区 …… 13
　　● 栗熊地区 …… 14
　　● 岡田地区 …… 15
　　● 富熊地区 …… 16
　　● 飯山南地区 …… 17
　　● 飯山北地区 …… 18
　2　全体会まとめ …… 19
Ⅲ　関係資料 …… 21

Ⅰ　住民座談会の概要

1　住民座談会の目的

多くの幅広い世代の市民のみなさまの参加を得ながら、直面している地域課題の把握や地域資源の発掘を行うとともに、地域課題解決のための方策をともに考え、目指すべき方向性を見出し、計画に反映させることを目的に実施しました。

2　実施期間

令和７年１月～３月

3　実施内容

各地区コミュニティから住民の方に住民座談会への参加を呼びかけていただくとともに、市ホームページにて募集を行い、市内 17 地区コミュニティごとに集まった住民の方々による座談会を実施。座談会では、地域福祉計画・地域福祉活動計画の内容と人口、世帯数など地域の状況を説明したあと、１グループ４～６人程のグループにて、地域資源の発掘するため、「活き活き・きらきら」をキーワードにして興味や関心、今ある良いことについて、また、地域の課題を把握するため、「もやもや」をキーワードにして思いや不安について、そして、地域資源と地域の課題を掛け合わせて課題解決のためにできることについて、「ボチボチ・やるやる」をキーワードに話し合っていただきました。最後に話し合った内容をグループごとに発表し、参加者全員の共有を行いました。

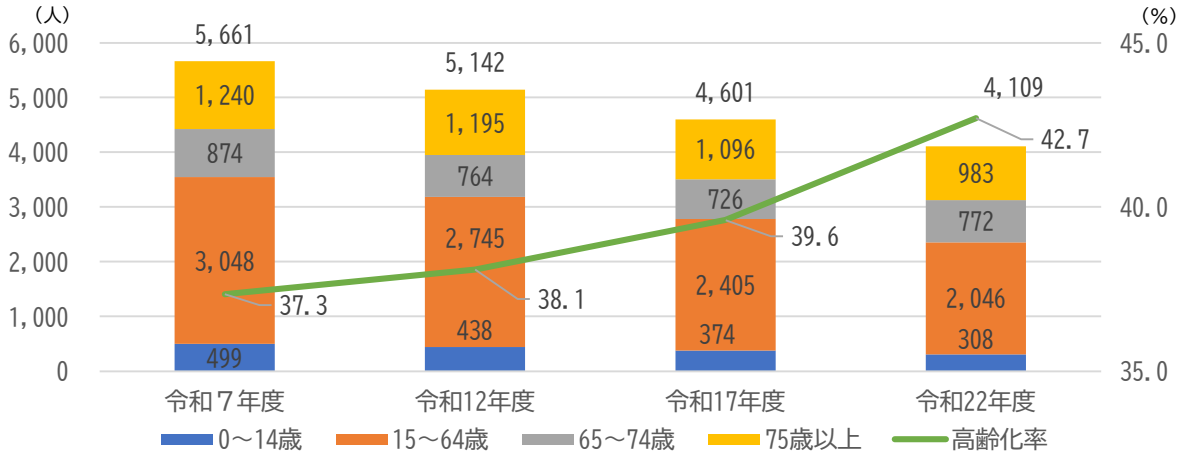
また、各地区で実施した住民座談会でいただいた共通した意見や各地区の特徴などを市全体で共有し、さらに、地域の見守り活動にご協力いただいている企業にもご参加いただき、問題解決のための方策を広域（中学校区単位）で考えていくことで、地域の横のつながりを深めるとともに支え合いの地域づくりを推進することを目的として、住民座談会（全体会）を開催しました。

Ⅱ　結果

1　各地区住民座談会まとめ

【城北地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・学校ボランティアがある
・市役所、駅など公共施設が近い
・子どもの見守り、防犯パトロール活動が充実
・コミュニティセンター活動が活発
・健康公園など子どもの遊び場が多い
・民生委員、愛育班が積極的に活動
・歴史を感じる寺院や道路がある

＜もやもや（想い・不安）＞

・子どもが減ってきた
・高齢者世帯や一人暮らし高齢者が増加
・自治会が縮小
・空き家の増加
・ボランティアの方の高齢化
・バスの本数が少なく、JR との接続が悪い
・南海トラフなど水害が心配

＜ぼちぼち・やるやる＞

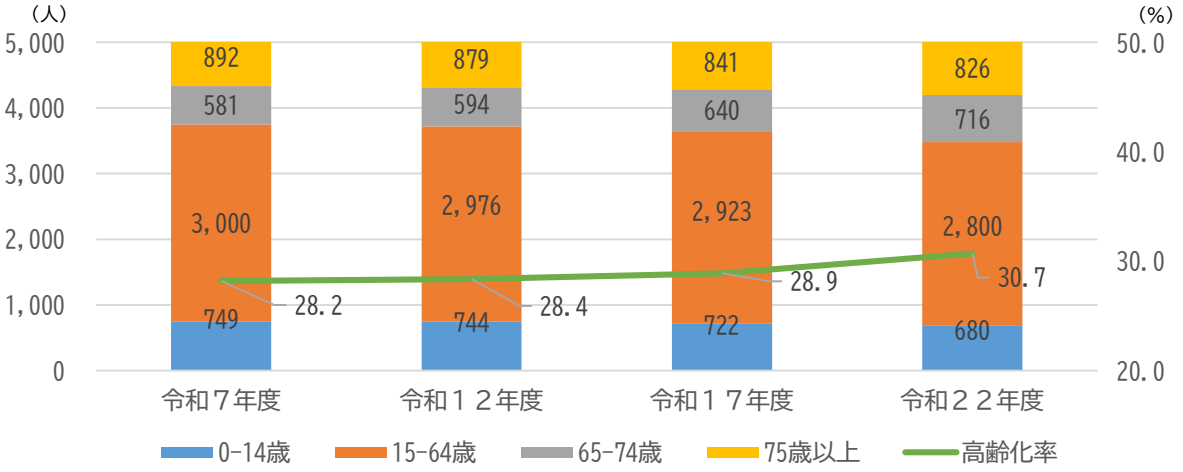
・家族、地域のつながりを大切
・隣近所のコミュニケーション
・防災訓練（マニュアルの作成、小中学性の参加）を効果的に実施
・公園の閉める時間の延長
・コミュニティの情報発信と活用
・継続的な声かけ運動の実施
・買物支援、風呂支援などの周知
・空き家の有効活用
・公園を利用したイベントの開催
・無理なく歩いていける所に集まれる場所をつくる
・まつりなどの行事や防災訓練と合わせて健康づくりを実施

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 4,108 人、高齢化率が 42.7%と推計されます。ワークショップでは教育施設と住民参加、整った生活環境、地域コミュニティと活動の活発化などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、つながりづくりの工夫、防災や環境活動、コミュニティの活性化、情報発信の強化、空き家の活用と居場所づくり、地域行事と参加促進などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【城西地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・日常生活が便利で買い物にも困らない。
・丸亀城が近く散歩や観光に適している。
・地域交流や行事が盛んである。
・自然が多く環境が良い。
・親切な住民が多い。
・コミュニティセンターが学びや交流の場を提供している。

＜もやもや（想い・不安）＞

・地域事業への若者の参加が少なく、交流が希薄である。
・高齢化が進み、空き家が増えている。
・自治会の活動や加入率が低下している。
・観光地に休憩所が不足している。
・ごみ問題やマナー違反が地域課題となっている。
・若者の地域ボランティアや後進の育成が進んでいない。

＜ぼちぼち・やるやる＞

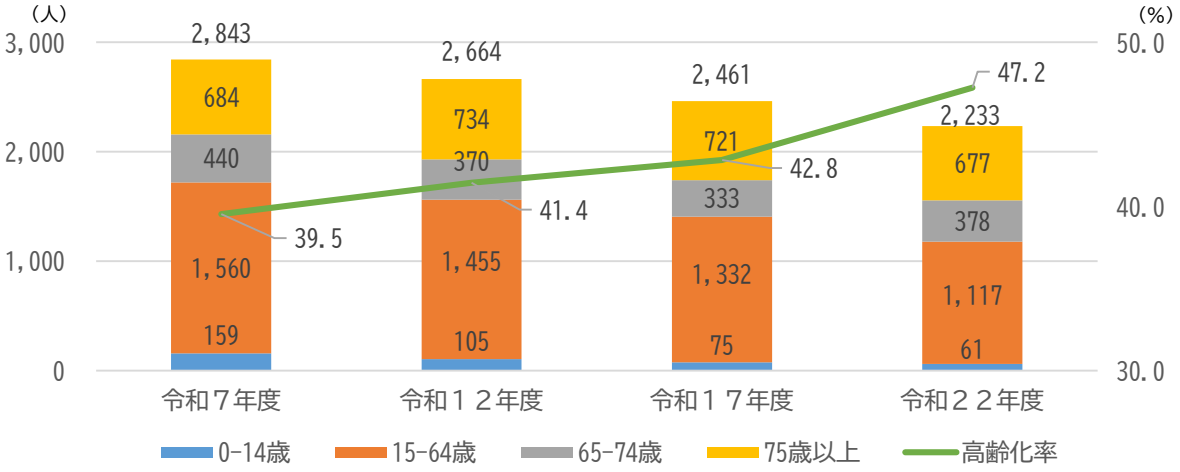
・クリーン作戦やウォーキング行事で地域の健康づくりとつながりを促進。
・丸亀城を起点に多世代交流や健康イベントを開催。
・高齢者向けの茶のみ場やお出かけ支援の充実。
・自治体加入を促す小イベントや子ども参加型行事の提案。
・若者や働き世代の交流を深める場の創出。
・ボランティア参加を当番制で協力体制を促進。
・マンション住民と地域交流を図るイベントの実施。
・LINE 公式アカウントで地域情報や呼びかけを効率的に行う。
・地域イベントやお祭り（例：城西まつり）の復活・活性化。
・暗い道の整備や相談窓口の周知で住環境を改善。

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、2040 年に人口 5,022 人、高齢化率が 30.7%と推計されます。ワークショップでは、便利な生活環境と自然の魅力、交流が盛んで親切、などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、地域の健康促進や多世代交流、住環境改善や行事活性化に注力し、丸亀城を拠点に観光資源を活かした交流豊かな社会を目指す、などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【城乾地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・月１回の自治体活動（講演・DVD・カラオケなど）を実施
・住民同士のつながりを深める活動が盛ん
・小中高、塾など教育機関が充実
・城乾地区の歴史的価値と風情の魅力
・スーパーや飲食店が多く、買い物が便利
・年８回のふれあい広場など自治会の定例行事

＜もやもや（想い・不安）＞

・空き家や空地が増加し、不審者侵入の懸念
・PTA や子供会が消滅し、学校児童数が減少
・地域活動の担い手不足と若者の参加が少ない状況
・商店街や店舗が減少し、生活に必要な店舗が不足

＜ぼちぼち・やるやる＞

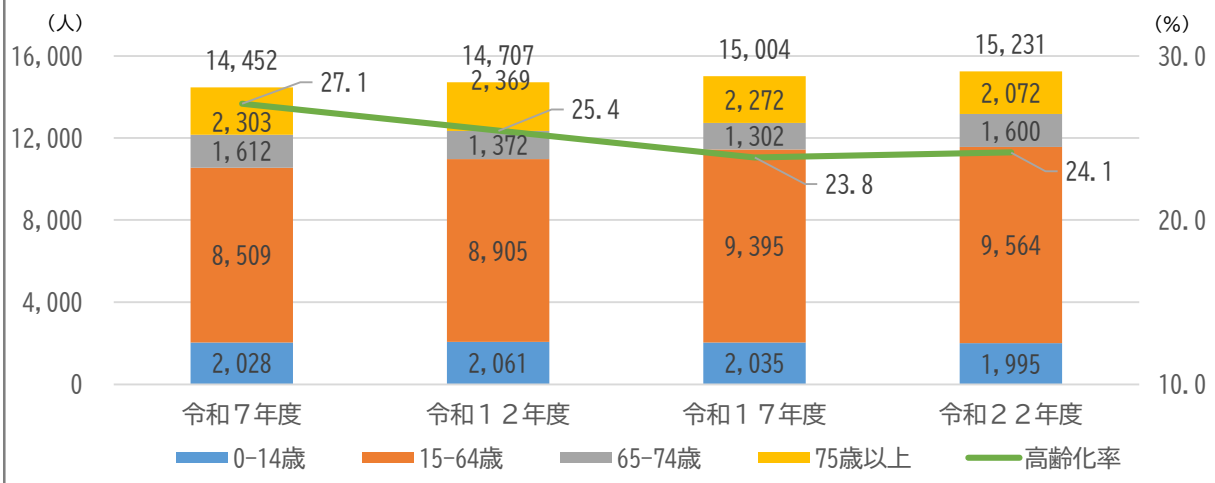
・朝のあいさつ運動や前期高齢者の活躍を支援
・空き家を活用してゲストハウスや店舗を誘致する
・丸亀の歴史を観光やふるさと教育に活用
・地域行事の存続のため、地区内外の人々を巻き込む工夫
・イベントを通じた防災教育や自主防災力の強化
・実践的な避難訓練の実施
・地域の歴史マップや散歩・サイクリングコースの作成
・子どもや地域住民が参加する体験型イベントの開催
・多世代交流サロンの開催や移動手段の整備
・城乾ブランドや地域の特色を活かした取り組みの後援
・情報共有の促進

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 2,233 人、高齢化率が 47.2%と推計されます。ワークショップでは地域の交流と多様性、教育環境の充実、歴史と地域資源の魅力などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、自治体活動と地域協力の促進、空き家対策と利便性の活用、歴史・観光資源の活用と地域行事の存続、防災と教育の融合、地域特性と観光の魅力づくり、多世代交流と福祉活動の推進などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【城坤地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・レクザムスタジアムやピカラスタジアムなどスポーツ施設があり、試合観戦が楽しめる
・病院や学校、体育施設が整い、便利な生活環境
・小学校や中学校との連携も良好で、子育てしやすい環境
・自然が豊かで子どもの遊び場が多い

＜もやもや（想い・不安）＞

・田んぼの減少による景観の変化と水害への懸念
・交通量の多さによる騒音問題
・登校班の廃止に伴う低学年児童への不安
・転居者が増加し、住民同士の交流が薄れる傾向
・災害時の対応や地域内の孤立化問題
・自治会加入率の低下と防災活動への影響

＜ぼちぼち・やるやる＞

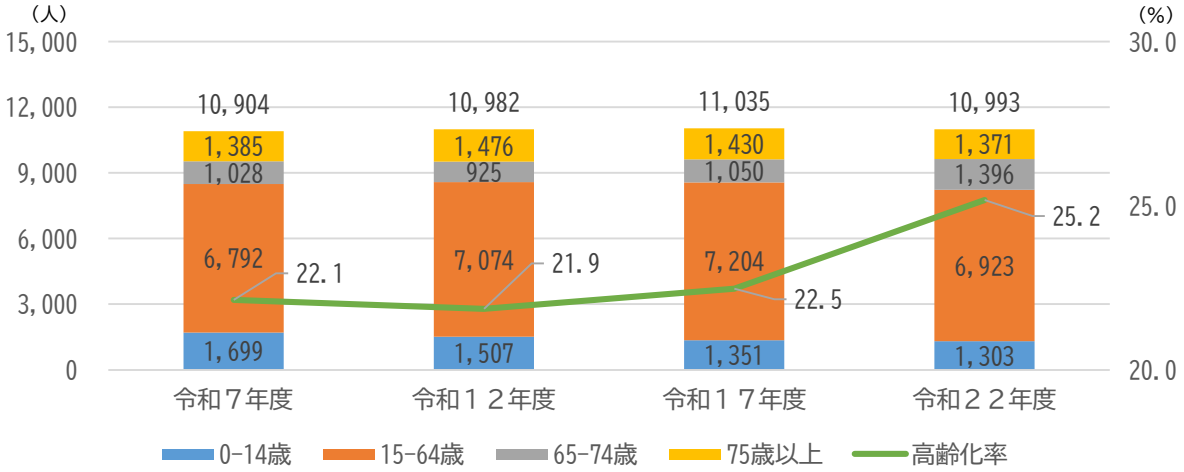
・祭りやイベントに地域清掃を組み合わせて行う
・祭りを通じて危険箇所を把握する機会を創出
・こどもボランティアが高齢者イベントに協力し、世代間の交流を促進
・地元神社やお年寄りとのつながりを深める
・学校行事にコミュニティが関わることで親子参加を促進
・楽しい行事を企画し、自治会加入のメリットを伝える
・本の貸出やお弁当販売を取り入れ、集える場を作る
・外国籍住民と交流できるイベント（料理教室、カラオケ大会など）の実施
・自然環境を活かしたウォーキングイベントや散歩と通学の連携を企画

【まとめ】

人口は増加傾向にあり、生産年齢人口は増加傾向、他の年代で減少傾向にあり、2040年に人口15,231人、高齢化率が24.1%と推計されます。ワークショップではスポーツ施設と観光資源、暮らしやすさと利便性の高さ、子どもと若い世代の増加などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、地域の祭りやイベントを活用した取り組み、こどもボランティアと多世代交流、地域コミュニティと学校の連携、自治会活動と参加促進、地域活動と住民参加の工夫:などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【城南地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・大型スーパーや飲食店が多く、自転車でも買い物に便利
・結婚を機に移住する人が多く、人口が増加傾向
・学校支援ボランティアや祭り、親子クリーン活動が盛ん
・保育所や学校が近く、子どもを見守る地域の目がある

＜もやもや（想い・不安）＞

・高齢化による自治会員の減少や行事の希薄化
・地域住民同士のつながりが薄れ、あいさつも減少
・福祉協力員や民生委員の後継者不足
・田んぼや自然の減少、空き家の増加
・学校が狭く、保護者ボランティアの参加率が低い

＜ぼちぼち・やるやる＞

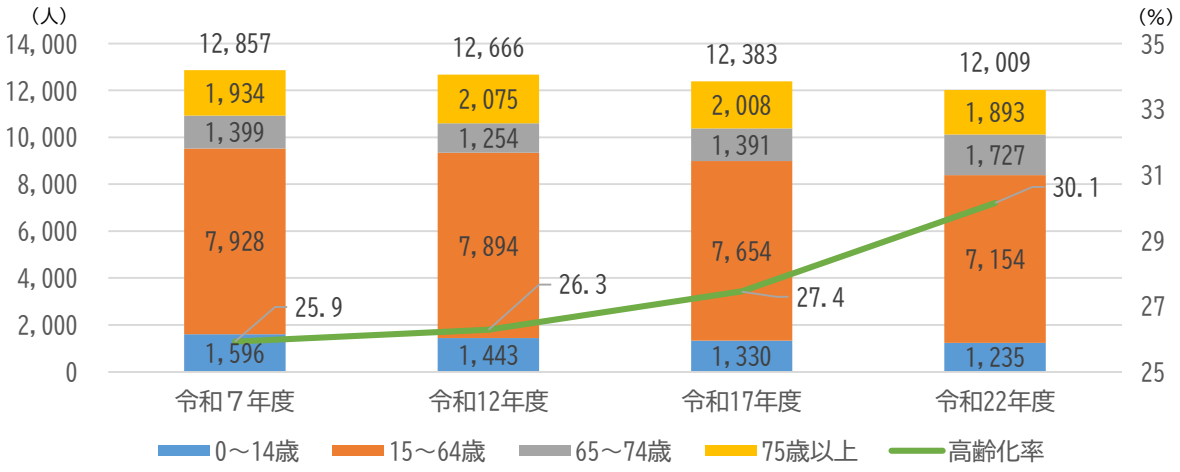
・見守り隊や清掃活動を取り入れて安心・快適な利用を促進
・自治会間や住民同士の関係を深めるためのイベント（自治会対抗競技やクリーン作戦）の実施
・子どもたちの居場所づくりや親子参加型イベントを通じて次世代との交流を促進
・子どもと高齢者の交流を促す伝承遊びや散歩企画を推進
・丸亀市による空き家の積極活用（ゲストハウスや地域活動拠点としての利用）
・地元農家とのつながりや農作業の学びの場を提供
・市内での買い物を促進し、地産地消の文化を広げる
・ボランティア活動などの取り組みを広報し、顔の見える関係を築く

【まとめ】

人口は増加傾向にあり、生産年齢人口、前期高齢者人口で増加、他の年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 10,993 人、高齢化率が 25.2%と推計されます。ワークショップでは便利な生活環境、増加する若い世代と住環境、地域コミュニティと活動の活発化などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、公共施設・自然環境の活用、自治会や住民のつながり強化、子どもや若い世代の参加促進、高齢者の活用と支援、地産地消と地域の結びつきなどのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【土器地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・青ノ山や土器川、海など自然に恵まれた地域
・夏祭りや田潮八幡様の秋祭り、獅子舞など伝統行事が盛ん
・清掃活動が盛んで、山や川の美化に取り組む
・い世代がイベントや活動を支える地域の雰囲気

＜もやもや（想い・不安）＞

・一人暮らし高齢者や独居老人への不安
・自治会員数の減少、新しい人材や後継者不足
・防災意識の低さや災害時の逃げ場所への不安
・道路の狭さや街灯の不足、乱暴な運転など交通安全に課題
・買い物や通院が不便

＜ぼちぼち・やるやる＞

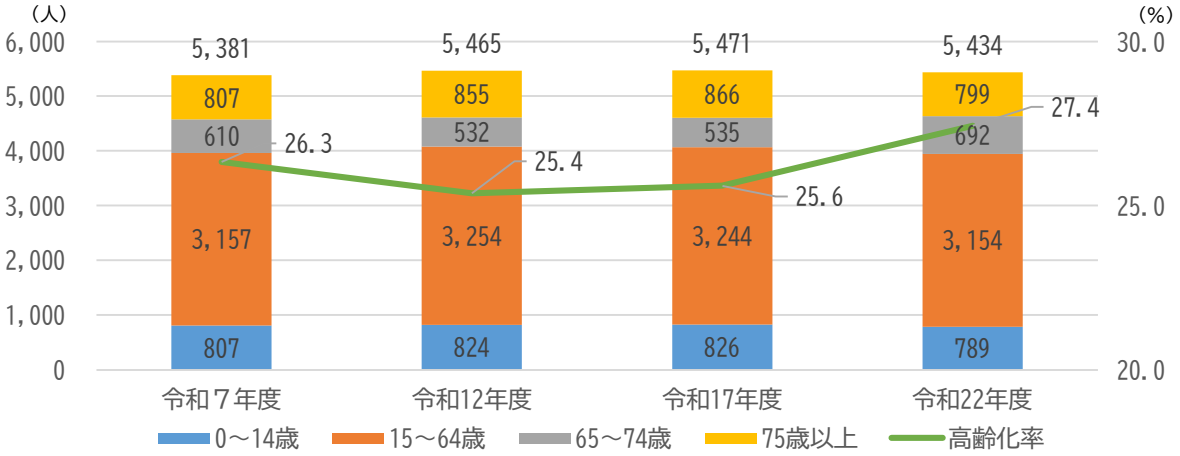
・定期的な防災訓練を自治会や小学校と連携して実施
・災害時の備えや防災意識を高める取り組み
・季節ごとに高齢者と子どもが昔の遊びで交流する企画
・親子参加型の楽しい行事や、若い世代が参加したくなる企画を実施
・歩きやすいウォーキングコースや散歩マップを作成し、健康維持を促進
・自治会長の役割分担や有償ボランティアを導入し、負担軽減
・小学校で支援員として高齢者が放課後支援や遊びをサポート
・「来て良し来なくて良し」の居場所を作り、世代を超えたテーマで交流

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、前期高齢者人口は増加傾向、他の年代で減少傾向にあり、2040年に人口12,009人、高齢化率が30.1%と推計されます。ワークショップでは自然環境の豊かさ、地域イベントと伝統行事、地域のつながりと助け合いなどの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、防災や環境活動、多世代交流と地域のつながり、地域行事と参加促進、移動手段や利便性向上、自治会の改善と参加促進、教育や子ども支援、居場所づくりと孤立防止などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【飯野地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・飯野山や青ノ山など自然が多く住みやすい環境
・人々の性格がおだやか
・学校や子ども園との連携が取れた活動
・新しい住宅地が増え、若い世代が多く移住
・飯野ふれあいまつりや町内清掃など地域活動が盛ん

＜もやもや（想い・不安）＞

・近隣住民とのつながりが薄れ、一人暮らし世帯や独居の方が増加
・自治会の加入率が低下し、参加者の高齢化が進行
・公共交通の便が悪く、移動手段が限られる
・赤ちゃんや幼児の居場所が少ないため、支援の充実が必要

＜ぼちぼち・やるやる＞

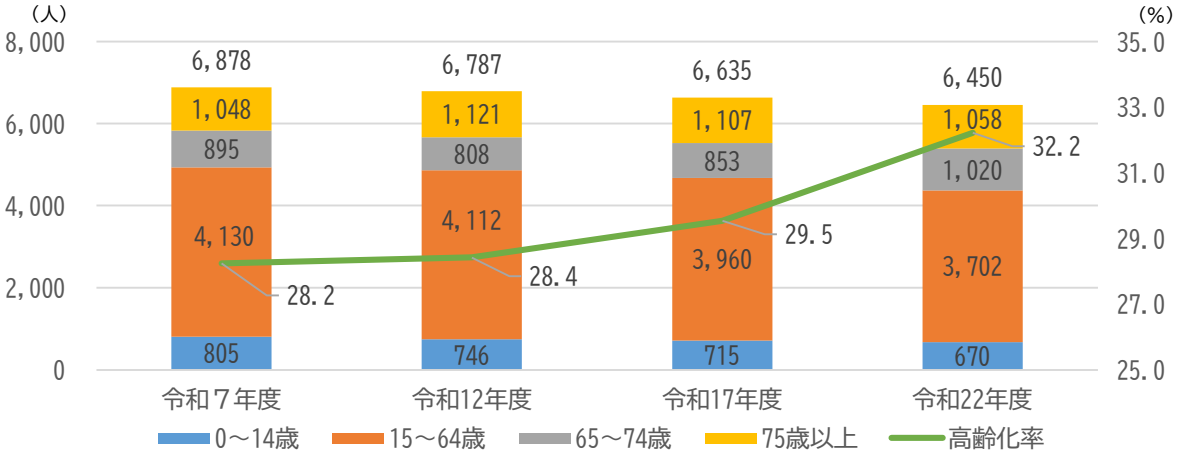
・若い世代が増えた分譲地を活用して地域づくりの参加者を増やす
・新しい自治会運営方法を検討し、住民の意見を反映
・自治会加入者と未加入者をつなぎ、自治会活動の大切さを伝える
・ふれあいカフェや赤ちゃんカフェを充実
・コミュニティ内バスやデマンドタクシーを導入し、交通手段を改善
・PTA の OB 会を組織し、地域の担い手として活躍を促す
・町内清掃活動を自治会未加入者も含めた形で実施し、きれいな町を保つ
・子育て世代の息抜き場所を提供し、世代間の連携を強化

【まとめ】

人口は増加傾向にあり、前期高齢者人口は増加傾向、他の年代で減少傾向にあり、2040年に人口 5,434 人、高齢化率が 27.4%と推計されます。ワークショップでは豊かな自然環境、人々のつながりと温かさ、地域の発展と人口増加などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、地域づくりへの参加促進、自治会の改善と運営、住民が集える場の提供、移動手段の確保、多世代交流の促進、地域の美化活動、子ども中心の地域活動などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【川西地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・災害への備えや知識を深める取り組みが盛んで、防災意識が高い
・手作りの公園作りに取り組み、緑を大切にする活動を推進
・ふれあい祭りや町内スポーツ大会など、にぎやかなイベントが多い
・自治会加入率が高く、コミュニティ活動が活発

＜もやもや（想い・不安）＞

・高齢者の交通手段不足
・自治会の役職が高齢者に集中しており、なり手不足が深刻
・防災部の高齢化が進み、若い世代の参加を促進する必要性
・PTA や子ども会の消滅により、子どもと地域のつながりが希薄化
・ゴミ集積所やカラス問題への取り組み

＜ぼちぼち・やるやる＞

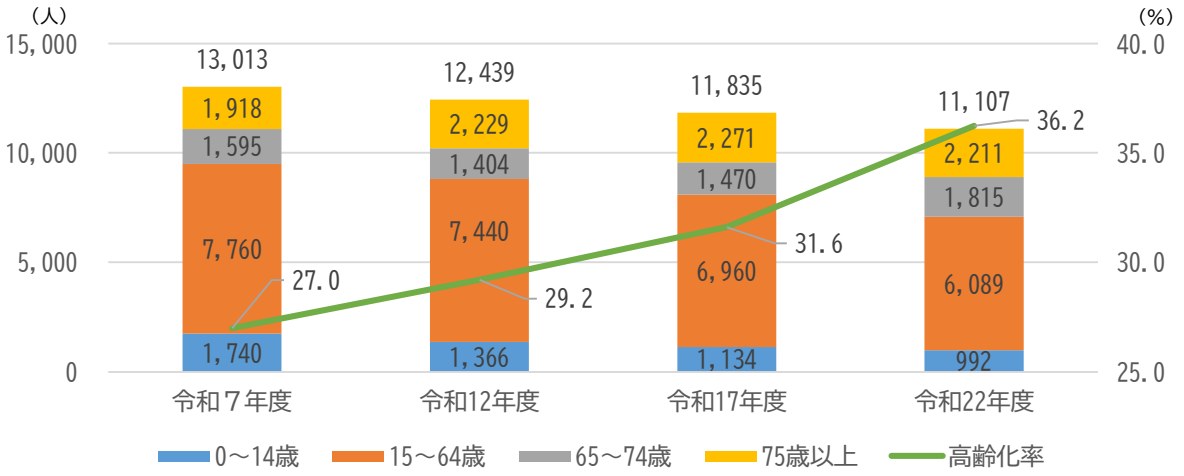
・配食サービスの拡充や食事を通じた交流
・子どもと高齢者の交流を推進
・森林公園や森の再生活動を継続し、美しい緑を保つ
・土器川活用や公園の平日利用を増やし、運動や筋トレ、ヨガなど健康活動を支援
・小学校横にコミュニティセンターを活用し、子どもたちを迎える環境作り
・コミュニティセンターを「ふらっと立ち寄れる場所」に変える
・健康確認ができる多目的施設の設置や長寿会での活動復活
・空き家を活用したシェアハウスの運営
・情報発信を強化（掲示板、SNS、地域周知）し、参加を呼びかける

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、前期高齢者人口、後期高齢者人口は増加傾向、他の年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 6,450 人、高齢化率が 32.2%と推計されます。ワークショップでは防災活動の充実、環境保護と清掃活動、自治会の活動と連携などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、福祉活動と地域交流の促進、子どもと大人の交流と活動、自然環境の活用、コミュニティの活性化、移動手段と高齢者支援、空き家と農業活用などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【郡家地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・気軽に話しかけてくれる住民や移住者を受け入れる土壌
・歴史ある土地柄や讃岐富士の景観、自然豊かな環境
・いきいきサロンや高齢者の積極的な集まり
・郡家銀座を中心とした商店や施設の充実
・災害が少なく住みやすい町

＜もやもや（想い・不安）＞

・独居老人や高齢者の骨折の増加が見られる
・地元意識が薄くなっており、新住民と旧住民の深い交流が少ない
・交通機関が脆弱で、駅が遠く、高齢者や住民の移動に困難がある
・通学路や道が狭く、街灯が少ないため、子どもの安全が懸念される

＜ぼちぼち・やるやる＞

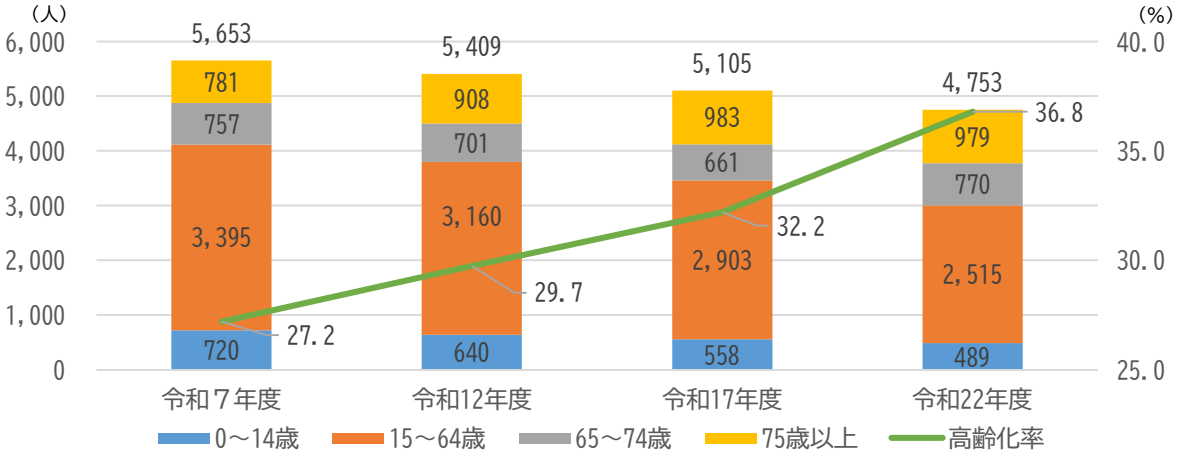
・年一度の一斉清掃で、小学生の親子と地域住民が一緒に活動
・小学校や子ども園との連携がスムーズで、子育てがしやすい自然豊かな環境
・各地区で行っていた祭りを郡家三条全体に統合し、にぎわいを取り戻す
・子どもを中心としたイベントを企画し、若い世代や親世代の参加を促進
・自動運転やオンデマンド交通、小型バスの導入で利便性向上を目指す
・未加入者への情報伝達の方法に工夫
・地域活動に関心を持つ若い人材の育成や参加を促す
・介護体操や春祭りを通じた多世代交流を促進

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、前期高齢者人口、後期高齢者人口は増加傾向、他の年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 11,107 人、高齢化率が 36.2%と推計されます。ワークショップでは地域住民の温かいつながり、自然と穏やかな住環境、地域経済と利便性などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、清掃活動を通じた地域交流、子育て支援と教育環境の充実、祭りやイベントの活性化、交通手段の改善、未加入自治会への対応と住民参加促進などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【垂水地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・優しい人が多く、穏やかな人柄が魅力
・コミュニティセンターでのクラブ活動や子どもたちの集まり
・土器川生物公園や農地が多く、自然が豊か
・コンビニや公共機関が充実し、交通やバス停が利用しやすい
・垂水神社や神楽などの歴史ある行事

＜もやもや（想い・不安）＞

・高齢化が進み、後期高齢者が多い一方で若い世代が住み着きにくい状況
・自治会から去る人や新住民との関わりが少なく、つながりの希薄化
・空き家の増加や団地の高齢化で管理が困難に
・車がないと生活が不便で、買い物や病院へのアクセスが遠い

＜ぼちぼち・やるやる＞

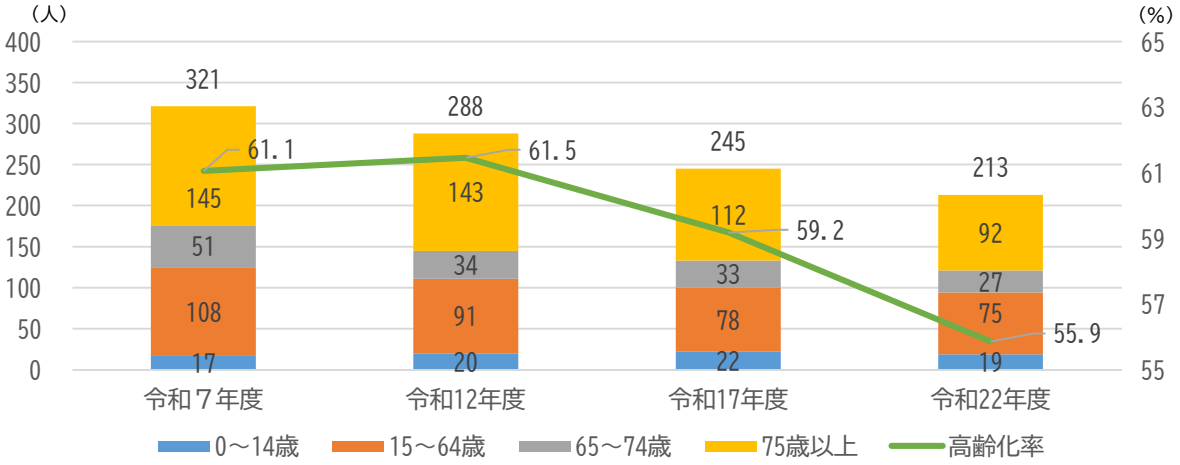
・ふれあい祭り、神社祭り、ふれあいウォークへの参加
・町民運動会を盛り上げる取り組み
・子ども食堂やみんなの食堂の設置で交流を活発化
・コミュニティセンターを家族のように集える場所にする
・ゆるいグループや仕組みづくりで地域の参加を促す
・人々のつながりを強化するためのちょっとしたきっかけづくり
・SNS での共有を通じて情報提供の場を広げる
・コミュニティセンター近くに公園を設置
・新しい自治会ルールの導入とメリットのアピール
・隣人との交流を深める取り組み

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、前期高齢者人口、後期高齢者人口は増加傾向、他の年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 4,753 人、高齢化率が 36.8%と推計されます。ワークショップでは垂水の人々の温かさとつながり、活発なコミュニティ活動、歴史と伝統文化の継承などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、祭りやイベントを通じた地域活性化、子どもや多世代交流の促進、コミュニティの機能拡充、つながりづくりの工夫、情報発信の強化などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【本島地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・近所付き合いが良く、困ったときにすぐに支え合える環境
・風光明媚な場所で、太陽が昇る赤い光景や夕日の美しさが魅力
・千歳座や伝建地区などの文化財が多く、歴史が感じられる地域
・瀬戸芸などのイベントで外国人観光客や若者も訪れる魅力的な地域

＜もやもや（想い・不安）＞

・イノシシによる農作物被害や夜間外出時の危険性
・若い世代が少なく、空き家や耕作放棄地が増加
・島内やバス停までの移動が難しく、車に頼らざるを得ない環境
・過疎化と高齢化により自治会活動が困難になりつつある

＜ぼちぼち・やるやる＞

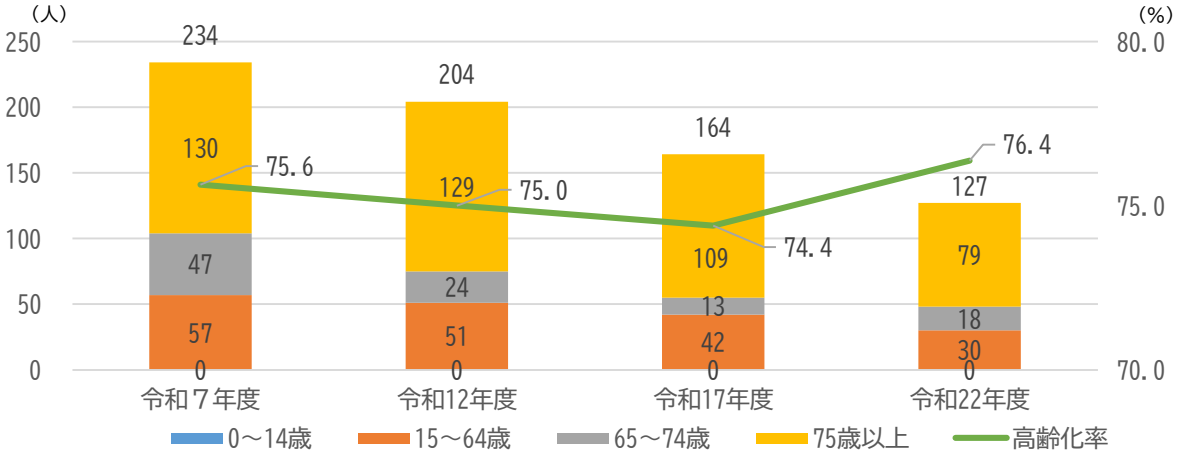
・島民の移動や交流を促進する交通インフラの改善
・デイサービス施設の設置や独自サービスの導入
・介護タクシーや高齢者を支える施設の設置
・部落単位でなく複数部落で合同の盆踊りなどの行事を企画
・お年寄りの手伝いをしてくれる人を募集し、世代間交流を促進
・瀬戸芸期間中の通訳待機や市によるインスタ宣伝を強化
・公衆トイレの増設や住民の移動手段として島内会社の設立
・丸亀福祉健康センターのような施設を島内に設け、避難所兼居場所として活用
・島内のグループ LINE を活用し住民間の情報共有を推進

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 213 人、高齢化率が 55.9%と推計されます。ワークショップでは住民同士のつながりと助け合い、自然豊かな環境、文化財と歴史の豊かさなどの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、交通と橋の整備、福祉と介護の充実、地域行事と交流の活性化、観光と島の魅力発信、生活の利便性向上、避難所兼居場所の施設、コミュニティと情報発信などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【広島地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・島民があたたかく、島外の人にも親切
・海の幸、山の幸がおいしい
・５年前に比べて将来の不安が減少
・自然が多く、景色が良い
・いろは石ウオークなどのイベント
・小手島アート
・HOT サンダル
・陶芸家の体験教室や個展

＜もやもや（想い・不安）＞

・買い物が不便
・イノシシの被害
・崩れそうな空き家
・インフラの老朽化
・自主防災などの人員不足
・高齢化による人手不足
・欠航
・島民の集う機会の減少

＜ぼちぼち・やるやる＞

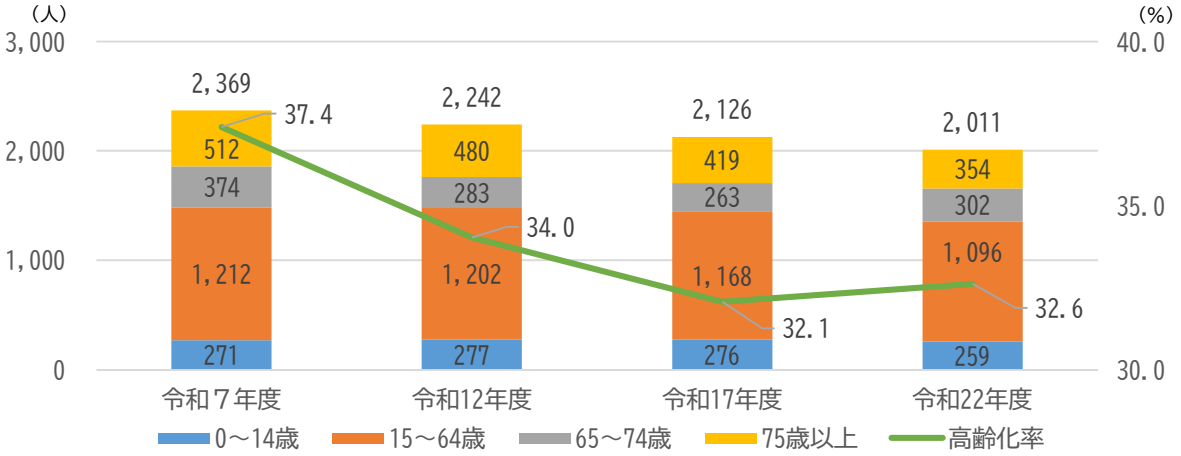
・島のイノシシのブランド化
（ジビエ、皮製品など）
・未利用地の有効活用
・島発の地場産業の促進
・島→港→駅→街の動線を活かした観光地化
・声掛け、回覧板の工夫
・男性だけのいきいきサロン
・インターネット利用による島内での仕事
・港でコンサート開催
・子どもと一緒に野菜の栽培、収穫体験、販売体験
・運営しやすい自治会規模

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 127 人、高齢化率が 76.4%と推計されます。ワークショップでは地域住民の温かいつながり、自然環境の豊かさ、地域イベントと住民の協力などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、地域特性と観光の魅力づくり、情報共有と地域ブランディング、自然環境の活用、自治会の改善と参加促進、祭りやイベントを通じた地域活性化などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【栗熊地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・ボランティアが活発
・いろいろな行事に参加できる
・大型商業施設が多い
・近所付き合いなど人とのつながりが良く、協力的
・クリックマンの見守り
・風光明媚で静かな土地柄
・老人施設が他地区より多い

＜もやもや（想い・不安）＞

・役員の高齢化、担い手不足
・知らない年代の人がいる
・こどもが少ない
・高齢者の休憩所がない
・のら犬が多い
・コロナ以降、自治会でのつながりが薄くなった
・農業経営が難しい

＜ぼちぼち・やるやる＞

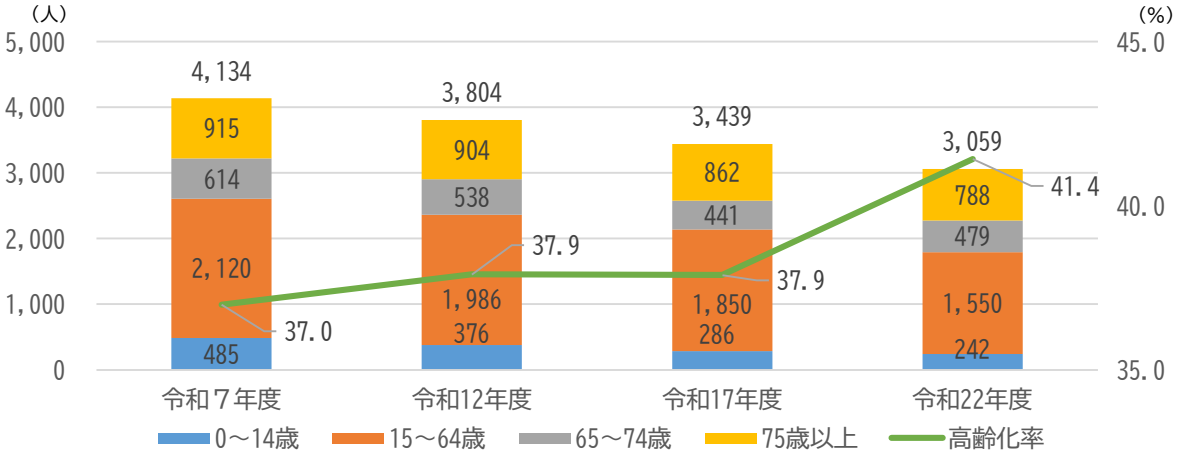
・声掛け、助け合い
・子どもが参加できるイベントの開催
・三世代が関われるイベントの開催
・クリックマンダンスの普及・啓発
・コミュニティの育成、活用
・デマンドタクシーの活用

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 2,011 人、高齢化率が 32.6%と推計されます。ワークショップでは活発なコミュニティ活動、住民同士のつながりと助け合い、自然環境の豊かさなどの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、イベントの充実と情報発信、コミュニティの活性化、若い世代と子どもたちの参加促進、住民が集える場の提供、交通手段の改善などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【岡田地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら（興味・関心、できていること）＞

・小学校に近い立地で子育てしやすい環境
・神社仏閣や文化財が充実
・大型スーパー「ハローズ」など生活の利便性が高い
・前向きでまとまりのあるコミュニティ活動
・集まりや交流できる場が豊富
・岡田台地は災害が少なく安全な地域

＜もやもや（想い・不安）＞

・子どもが少なく、少子高齢化が進行
・車がないと不便な地域環境
・耕作放棄地や荒れた農地の増加
・担い手不足やコミュニティへの負担の増大
・子どもの遊び場や気軽に集える居場所の不足
・地域の情報伝達手段の不足

＜ぼちぼち・やるやる＞

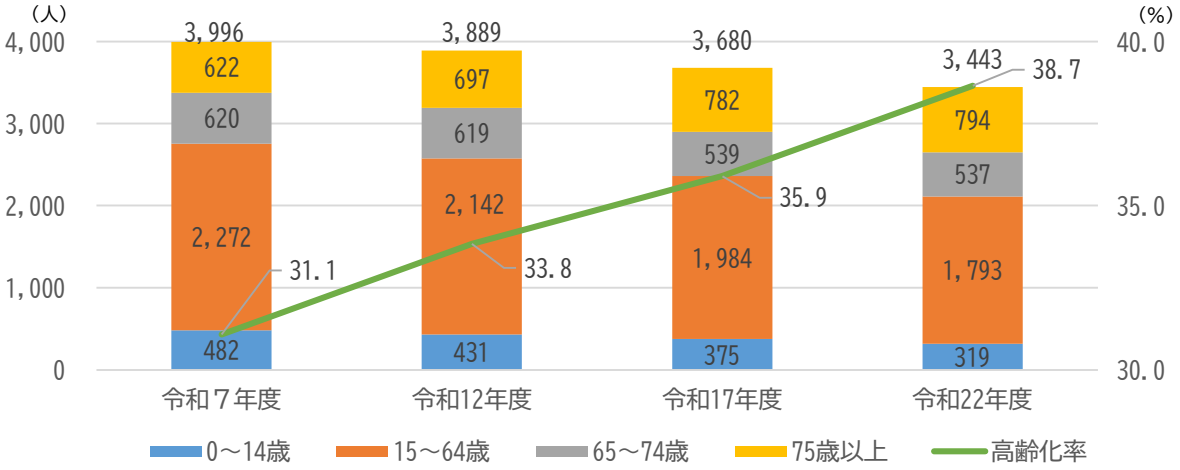
・空き家を若者移住や子どもの居場所として活用する取り組み
・フードバンクと連携し、シングルマザーの支援や居場所の見守りを強化
・地域の担い手不足解消に向けた若い人材の育成
・PTA や商工会青年部など、若い世代同士の連携促進
・地域祭りやイベントでの楽しい交流やつながりづくり
・ボランティアや若い保護者が参加しやすい環境を整備
・多世代が参加できるイベントや異世代交流の場づくり
・健康ウォーキングや文化財活用イベントを SNS で発信
・小回りが利く移動手段（送迎ウーバーや乗り合いサービス）の整備

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 3,059 人、高齢化率が 41.4%と推計されます。ワークショップではコミュニティと学校の連携、商業施設と利便性、イベントと地域活動などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、空き家の活用と居場所づくり、農地・担い手問題の解決、若い世代の連携とコミュニティ交流、地域ボランティアと住民参加の促進、居場所の充実と異世代交流、地域 PR と健康推進活動などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【富熊地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・龍王山や輪工池、カモやコウノトリが訪れる自然豊かな地域
・挨拶が盛んで、住民が優しく親しみやすい
・夏祭り、地神祭、映画会など住民が楽しめる行事が豊富
・都心から越してきた人も安心して暮らせる住みやすい場所

＜もやもや（想い・不安）＞

・自治会未加入者や退会者の増加により、会員数が減少
・若者の減少やお祭りなどの行事参加の困難さ
・一人暮らしや高齢世帯の増加
・自然災害が少ないが、災害への備えが不足している
・公園や休憩場所の不足

＜ぼちぼち・やるやる＞

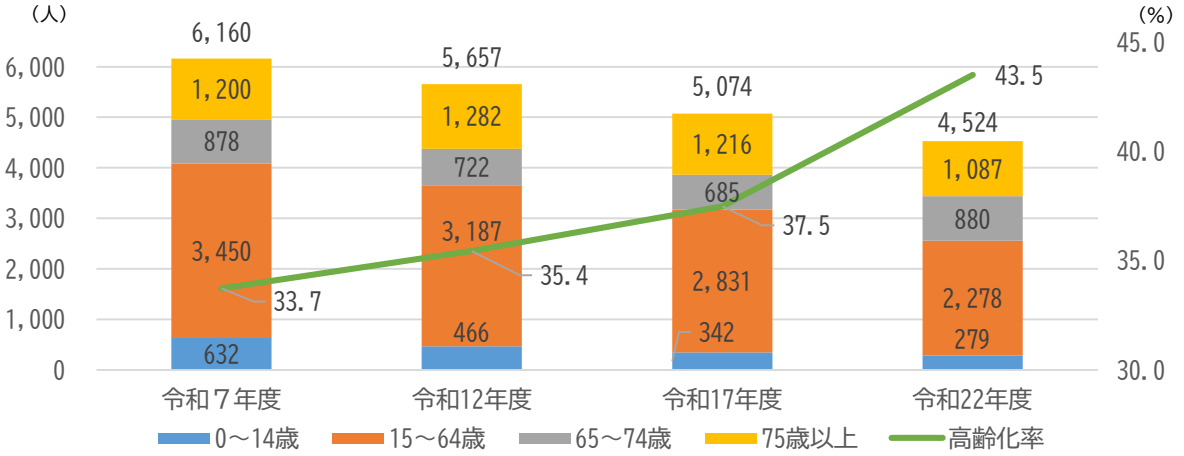
・老人会と若い世代との分断を解消する場づくり
・高齢者の知恵や能力を活かした企画の実施
・同じ趣味を持つ場や大会を開催し、住民の生きがいを育む
・スポーツサークル同士のつながりを強化する取り組み
・活動の PR や富熊コミュニティの公式ラインなどを活用した情報発信
・PTA 拡大や若者が参加しやすい行事の仕組みづくり
・移動スーパーやコミュニティ内の移動手段（車やバス）を検討
・自治会への参加率向上のための情報提供や仕組みの改善
・何かを始めたい住民を一対一で支援する体制を整備

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 3,443 人、高齢化率が 38.7%と推計されます。ワークショップでは自然環境の豊かさ、人々のつながりと優しさ、活発な地域活動と行事などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、世代間交流の促進、活動の場と企画の充実、周知方法の改善と情報発信、若い世代の参加促進、移動手段の改善、住居と自治会の課題解決、住民の活動意欲の支援などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【飯山南地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・バイパス全線開通、市道五反地沖線の整備が進む
・民生委員や福祉ママの活動が住民とのつながりを深めている
・おでかけ号や助け合いサービスで移動手段や生活支援を提供
・小学生の登校時あいさつ運動やボランティア活動が活発

＜もやもや（想い・不安）＞

・新しい道の開通に伴う交通安全への不安
・高齢者の居場所や日中一人暮らしへの参加支援の必要性
・免許返納後の生活の不便さや高齢者の異常気温への対応
・若い世代の自治会参加率の低下や人員不足
・子どもの減少やラジオ体操への参加低下

＜ぼちぼち・やるやる＞

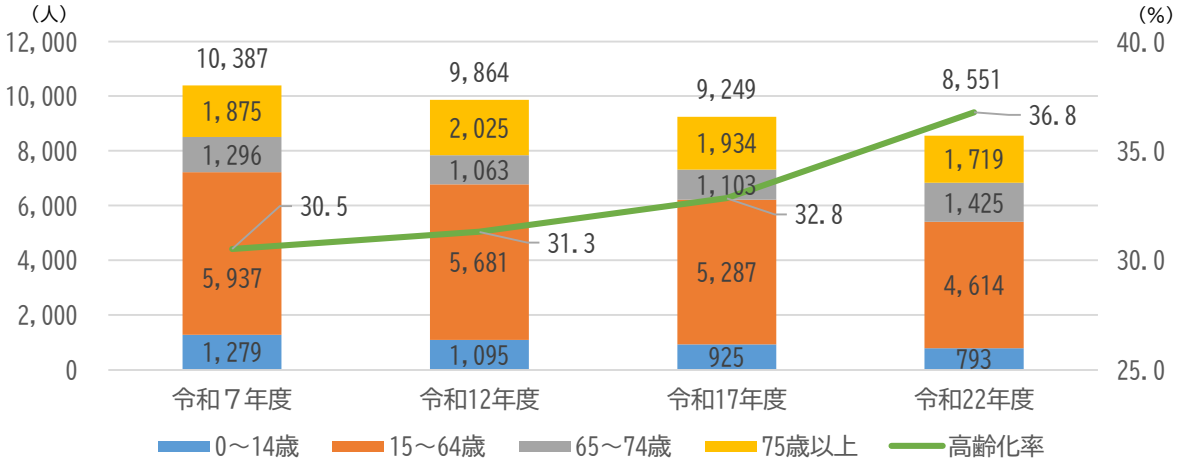
・若者が地域づくりに参画できる仕組みづくり
・親子参加型の楽しいイベントや映画観賞会、健康イベントの実施
・自治会に入るメリットや手軽さを広報で周知
・役職の負担軽減やリーダーの集団化、推進部隊の結成を検討
・魅力あるチラシや法の郷だより HP を活用した情報提供
・高齢者向け交通安全教室や子どもとの交流の場を提供
・法の郷公園を中心に春夏秋冬イベントを開催し、家族連れを促進
・自転車交通ルールや携帯教室の実施で若い世代の指導者活用

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、すべての年代で減少傾向にあり、2040 年に人口 4,524 人、高齢化率が 43.5%と推計されます。ワークショップでは地域のインフラと発展、コミュニティ活動の充実、健康や福祉への取り組みなどの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、若い世代と子どもたちの参加促進、イベントの拡充と企画、自治会活動の周知と改革、広報と情報発信、多世代交流と高齢者支援、地域資源の活用、健康づくりと自立支援などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

【飯山北地区】

【人口推計】



【住民座談会での意見】

＜活き活き・きらきら
（興味・関心、できていること）＞

・スーパー、病院、学校などが充実し、町内で必要な用事を済ませられる
・助け合いサービスや一人暮らし高齢者への訪問活動を実施
・子どもを支えるボランティア活動が活発
・飯野山の美しい風景が地域の特徴
・新しいコミュニティセンターを拠点に活動を展開

＜もやもや（想い・不安）＞

・自治会内のつながりが希薄化し、加入者が減少
・ひとり暮らしや老老世帯、高齢者の増加により孤立が深刻化
・車の速度や歩道の狭さが通行や通学の安全を脅かしている
・不登校の増加や子どもたちが遊べる場所の不足

＜ぼちぼち・やるやる＞

・困った人を支援する相談窓口を設置し、行政のサポートを強化
・子育てに関する悩み相談窓口や地域内の集まりを提供
・高齢者の調理支援（料理教室、高齢者食堂）や交流の場を増設
・部落での体操教室やゴミ出しの支援体制を整備
・買い物できる店や居酒屋の設置を検討
・新コミュニティセンターを拠点にしたイベントの開催
・コミュニティの取り組みの共有やスポーツを通した世代交流の企画
・高齢者と高校生を巻き込む食堂の企画や交流イベント
・コミセン酒場やカフェを通じて親しみやすい場を提供

【まとめ】

人口は減少傾向にあり、前期高齢者人口は増加傾向、他の年代で減少傾向にあり、2040年に人口8,551人、高齢化率が36.8%と推計されます。ワークショップでは整った生活環境、高齢者支援と福祉活動、自然豊かな環境などの活き活き・きらきらがあり、もやもやに対して、子育て世代と困りごとの相談支援、高齢者支援と交流の場づくり、生活環境の改善と利便性向上、イベントの充実と情報発信、地域のつながりと交流の促進、高齢者と若者の融合活動などのぼちぼち・やるやる具体的な取組が検討されました。

2　全体会まとめ

各地区で実施した、地域福祉に関する住民ワークショップの結果を踏まえて、中学校区単位で、みんなで協力してやれることを考えました。

東中学校区

みんなでやるやる（隣の地区、団体・事業所・企業と一緒にやれること）

・コミュニティを超えた外国人住民との交流（警察・コンビニ・施設などとの協力）
・小学校・こども園との連携による地域活動（広報誌配布・協働本部）
・パントリー活動や 100 円ショップなど地域資源の活用（食品・野菜・障がい者施設のパン）
・高齢者・障がい者への防災と見守り体制づくり（名簿の活用含む）
・趣味や防犯訓練の推進による自治会活動の活性化
・保育支援・カフェ開放など、子どもの居場所と母親支援の充実
・散歩マップ・ウォーキングコースによる地域資源の再発見
・社会資源や観光を活かした仕事づくりと地域づくり
・ホームページでの情報発信による自治会未加入者との接点確保
・防災活動の強化と継続的な訓練（自治会長の年１回参加など）

西中学校区

みんなでやるやる（隣の地区、団体・事業所・企業と一緒にやれること）

・子ども主体のイベント企画や学校・PTA との協働活動
・高校生・企業との連携による世代間交流の促進
・地域資源を活かしたマップ作成や地産地消の学びの場づくり
・イベント・取材による地域の魅力発信と住民参加の促進
・ SNS・広報誌の電子化などによる情報発信の充実
・バス・ケーブルテレビなど公共メディアを使った地域 PR
・コミュニティセンターや地域サロンを活用した居場所づくり
・軽食・ポイント制度などで誰もが参加しやすい仕組みを工夫
・自治会加入率の低下・資金不足などへの改善策検討
・高齢者支援・防災力強化を視野に入れた地域全体の取り組み

南中学校区

みんなでやるやる（隣の地区、団体・事業所・企業と一緒にやれること）

・コミュニティセンターを拠点にしたサロン活動やイベントで、誰もが気軽に集まれる場を整備
・軽食の提供やポイント制度の導入により、参加のハードルを下げる工夫を実施
・空き家の利活用を通じて、世代を超えた交流拠点の構築を目指す
・地域の住みやすさ（店舗の多さなど）を生かした暮らし支援活動を展開
・一斉清掃や親子イベント、料理活動など、子ども主体の地域参加を推進
・近所の子どもが自由に遊べる居場所づくり
・小学生との歴史探訪を通して、地域への愛着と学びの機会を創出
・子ども食堂やみんなの食堂を通じた多世代の交流を促進
・神社祭りや社会見学など、文化・歴史への関心を高める行事の活性化
・高齢者の買物支援や配給・お弁当サービスの充実、自動運転バス導入の検討

綾歌中学校区

みんなでやるやる（隣の地区、団体・事業所・企業と一緒にやれること）

・高齢者や子育て世帯への移動販売サービスの実施要望
・セブンナウを活用した注文品の配達（配達料が必要）
・３小学校間の交流の場を増やす提案
・防災活動に地元企業の協力要請
・移動手段問題の解決策としてデマンドタクシーや移動販売の導入
・若い世代（中学生以上）が積極的に参加できるイベントの開催
・警察・地元企業・住民を巻き込んだ防犯訓練の実施

飯山中学校区

みんなでやるやる（隣の地区、団体・事業所・企業と一緒にやれること）

・一人暮し高齢者への思いやり事業の強化
・徘徊見守り活動の必要性
・若い世代が地域づくりに参画できる仕組みづくりの重要性
・子ども食堂と高齢者食堂のコラボレーション
・役職の負担軽減や推進部隊の結成の検討
・若者や子どもが参加できるイベントの開催（体験ゲーム、映画、アニメ）
・灯油宅配とたすけあいサービスの連携
・ガソリンスタンドやコミュニティを活用した仕組みづくり

総括

全体会で、各中学校区でのワークショップで共通してあげられたのは、「人とのつながりを大切にし、多世代・多様な立場の住民が関われる場をいかにつくるか」という点があげられました。

各地域では、子どもや若者、高齢者、外国籍住民などを包摂するためのさまざまなアイデアが検討されました。

特に、子ども主体の活動や多世代交流イベント、サロン・子ども食堂などの場づくりの意見があげられました。

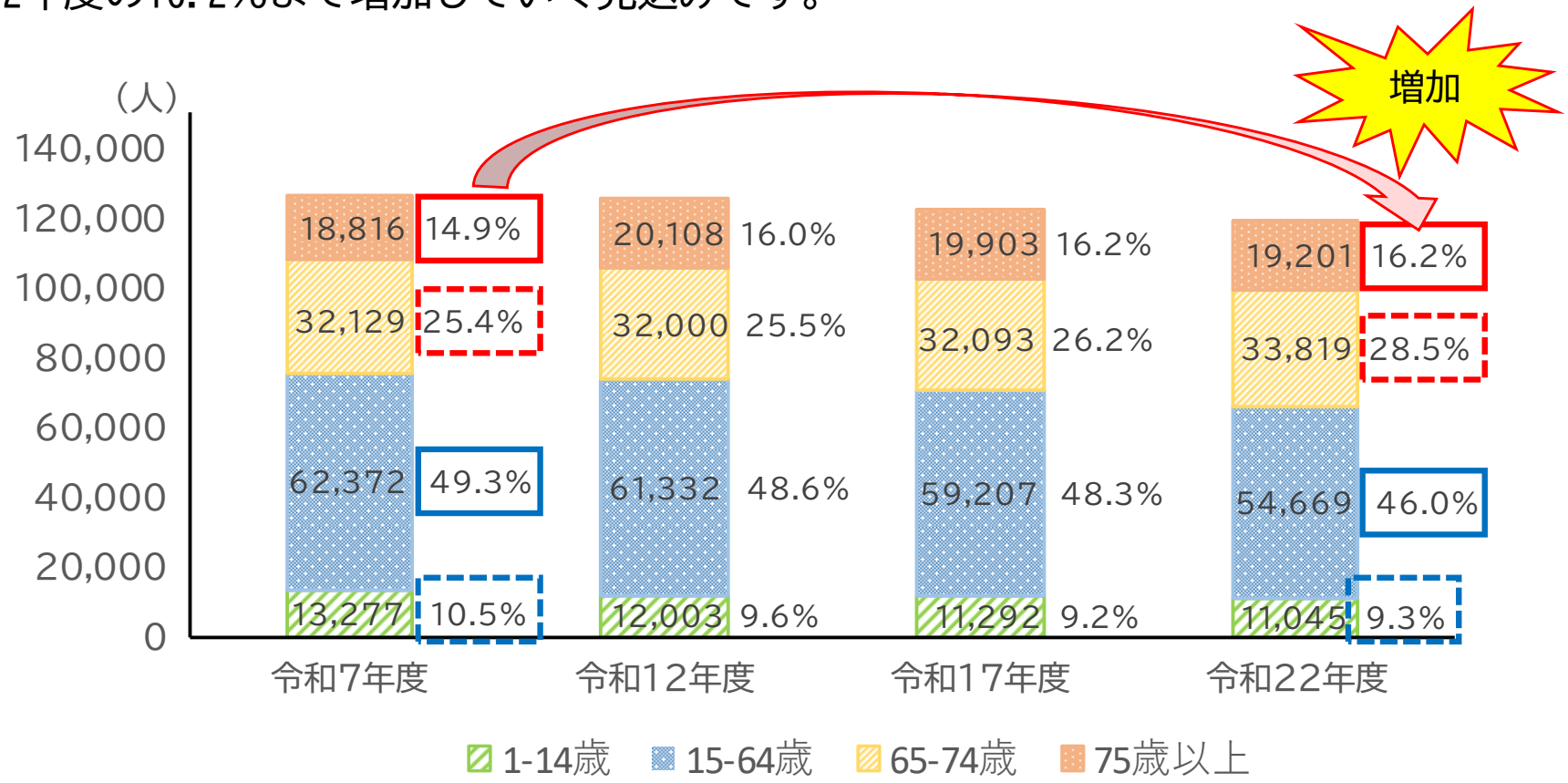
情報発信についての意見もみられ、SNS、ホームページ活用など、多様な手段での情報発信が取組としてあげられました。

関係資料

丸亀市の人口推計について

【人口推計について】

丸亀市の年齢４区分の人口は以下の通りです。15-64歳の生産年齢人口の割合は令和７年度の49.3%から令和22年度の46.0%まで減少していく見込みとなっています。一方で、75歳以上の後期高齢者人口の割合は令和７年度の14.9%から令和22年度の16.2%まで増加していく見込みです。



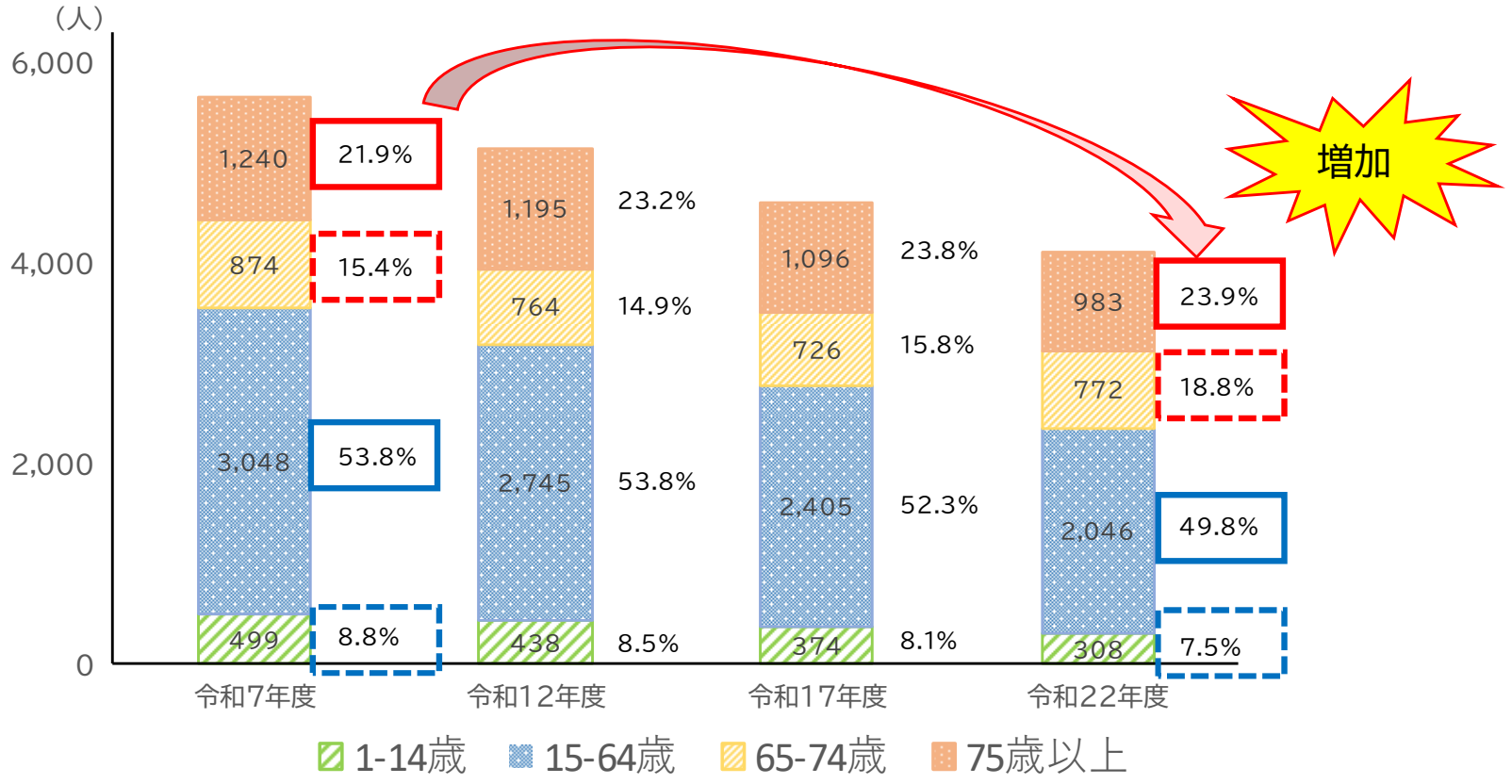
資料：人口問題研究所

城北地区の人口推計について

【城北地区の人口推計について】

城北地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて75歳以上の割合が高く、7.7ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、9.7ポイントの差となっています。また、15-64歳については、同程度となっています。



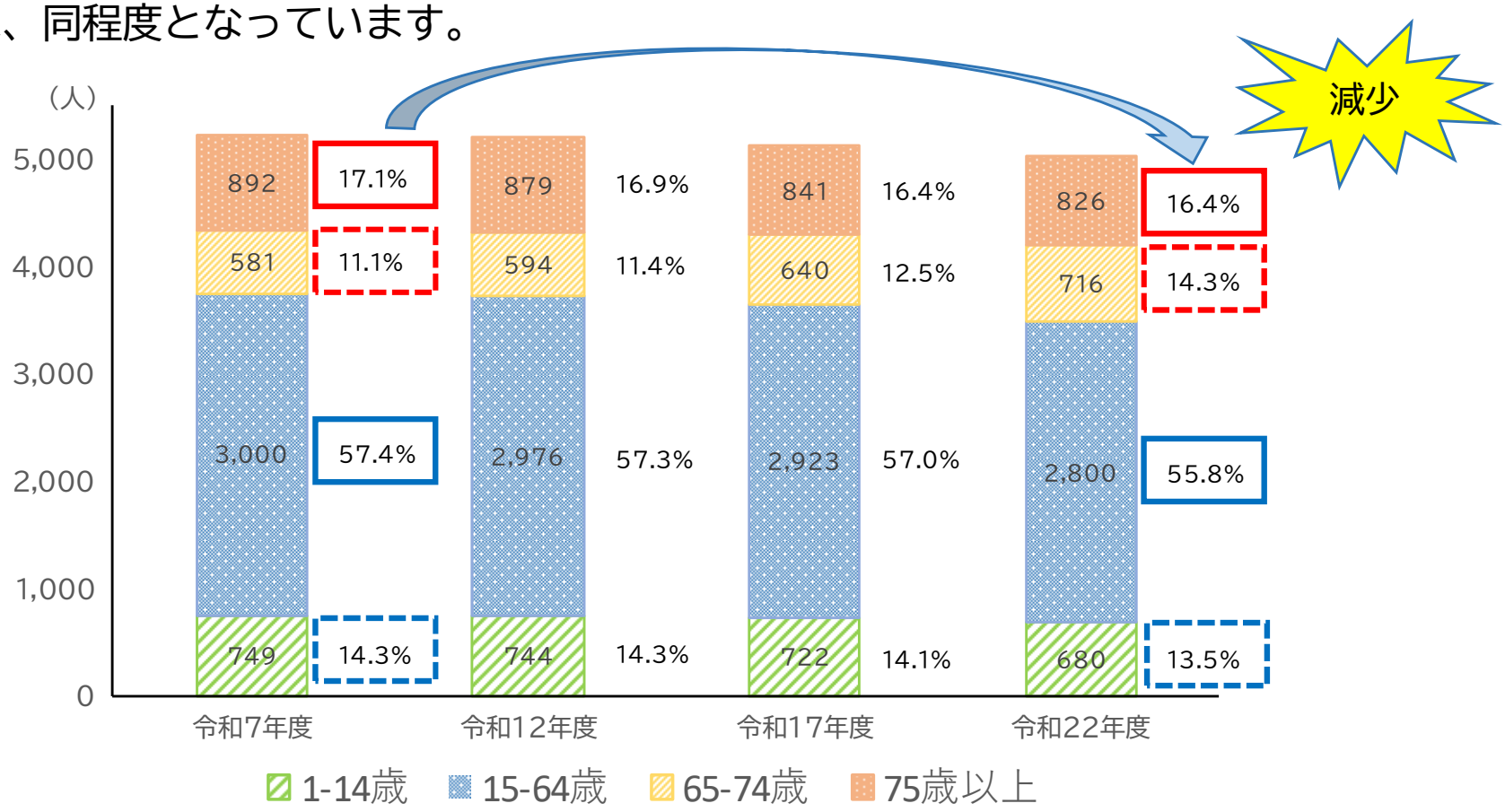
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

城西地区の人口推計について

【城西地区の人口推計について】

城西地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、9.8ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、14.2ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



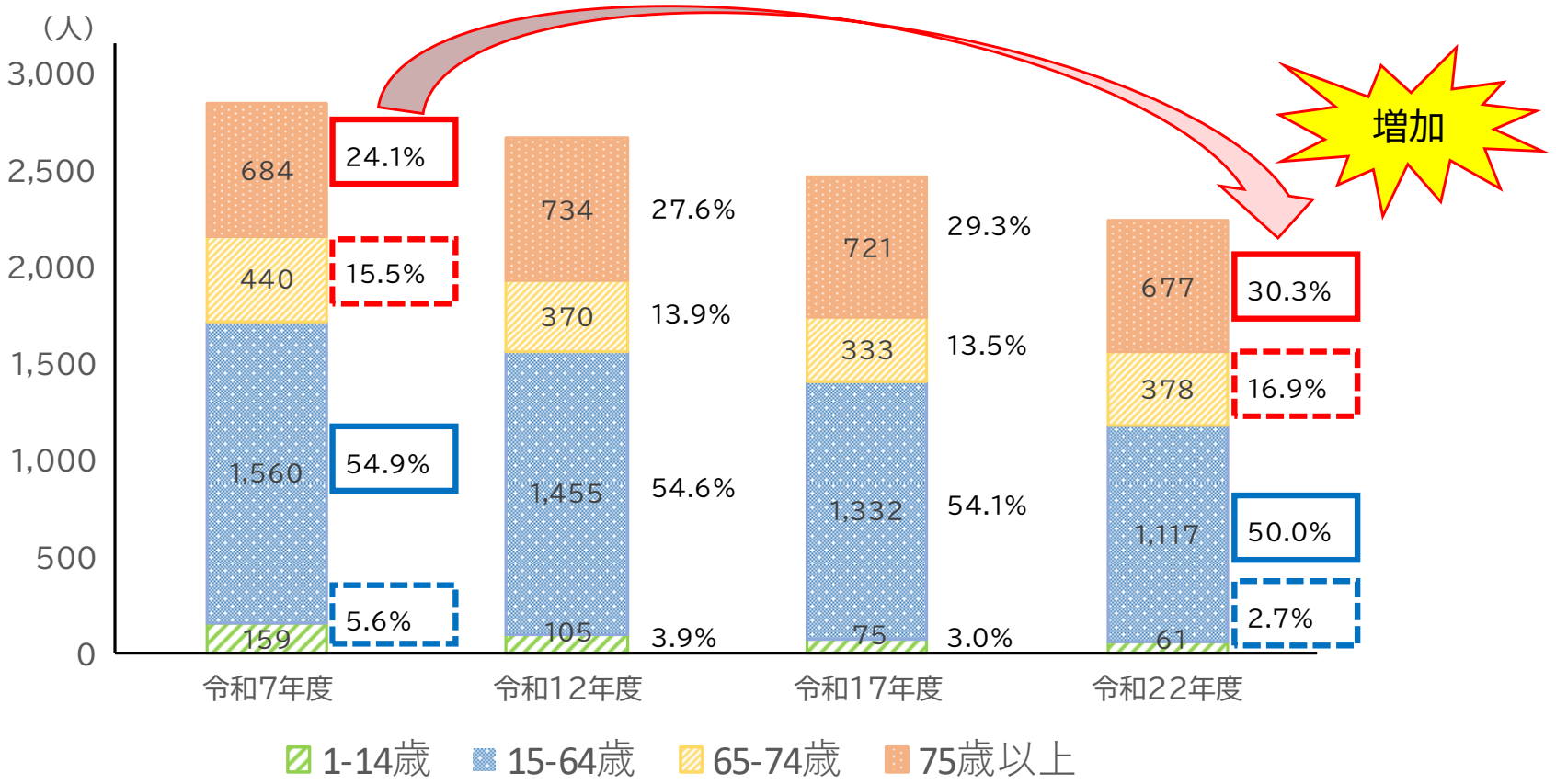
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

城乾地区の人口推計について

【城乾地区の人口推計について】

城乾地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて75歳以上の割合が高く、14.1ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、11.6ポイントの差となっています。また、15-64歳については、同程度となっています。



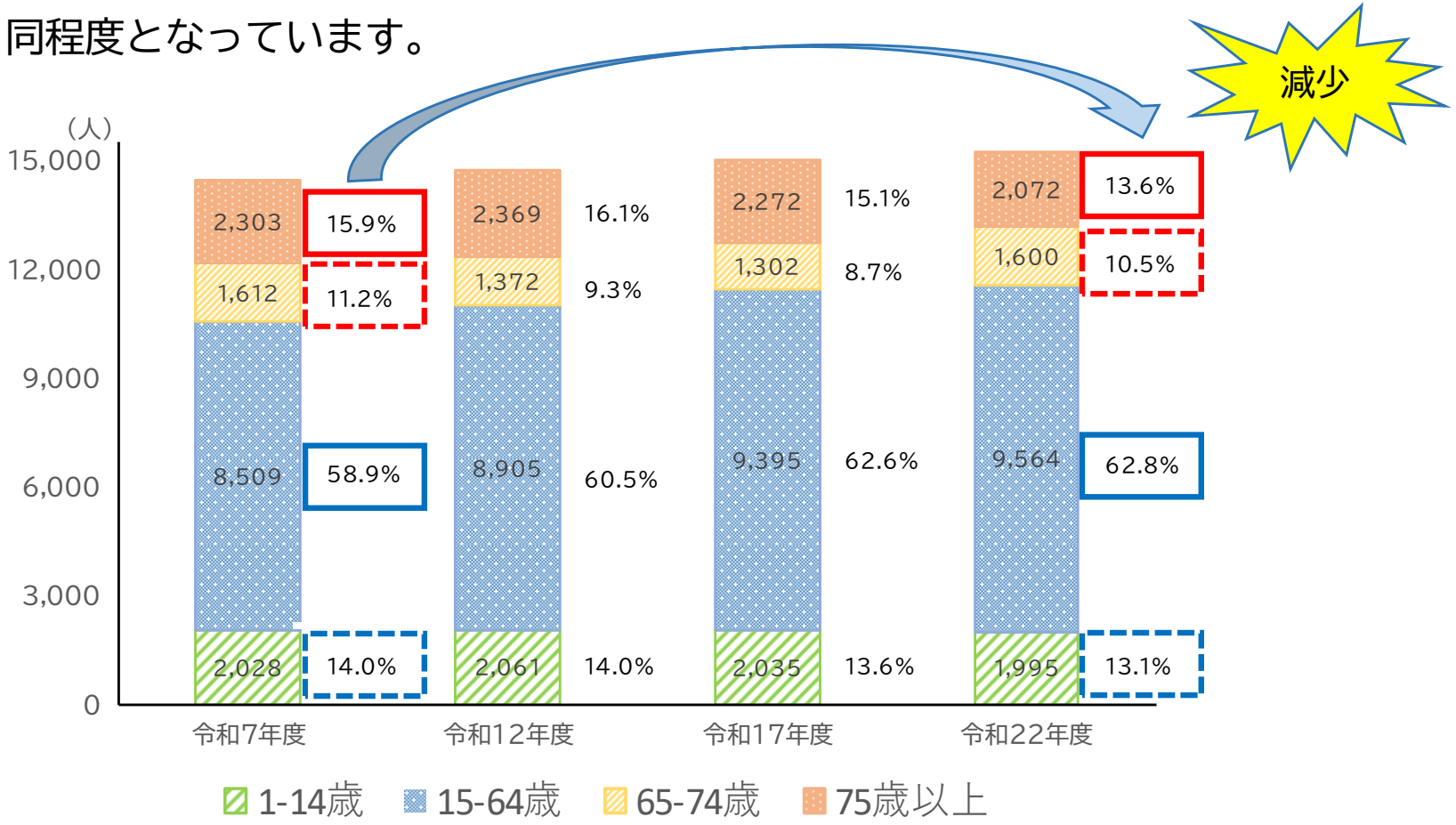
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

城坤地区の人口推計について

【城坤地区の人口推計について】

城坤地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、16.8ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、18.0ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



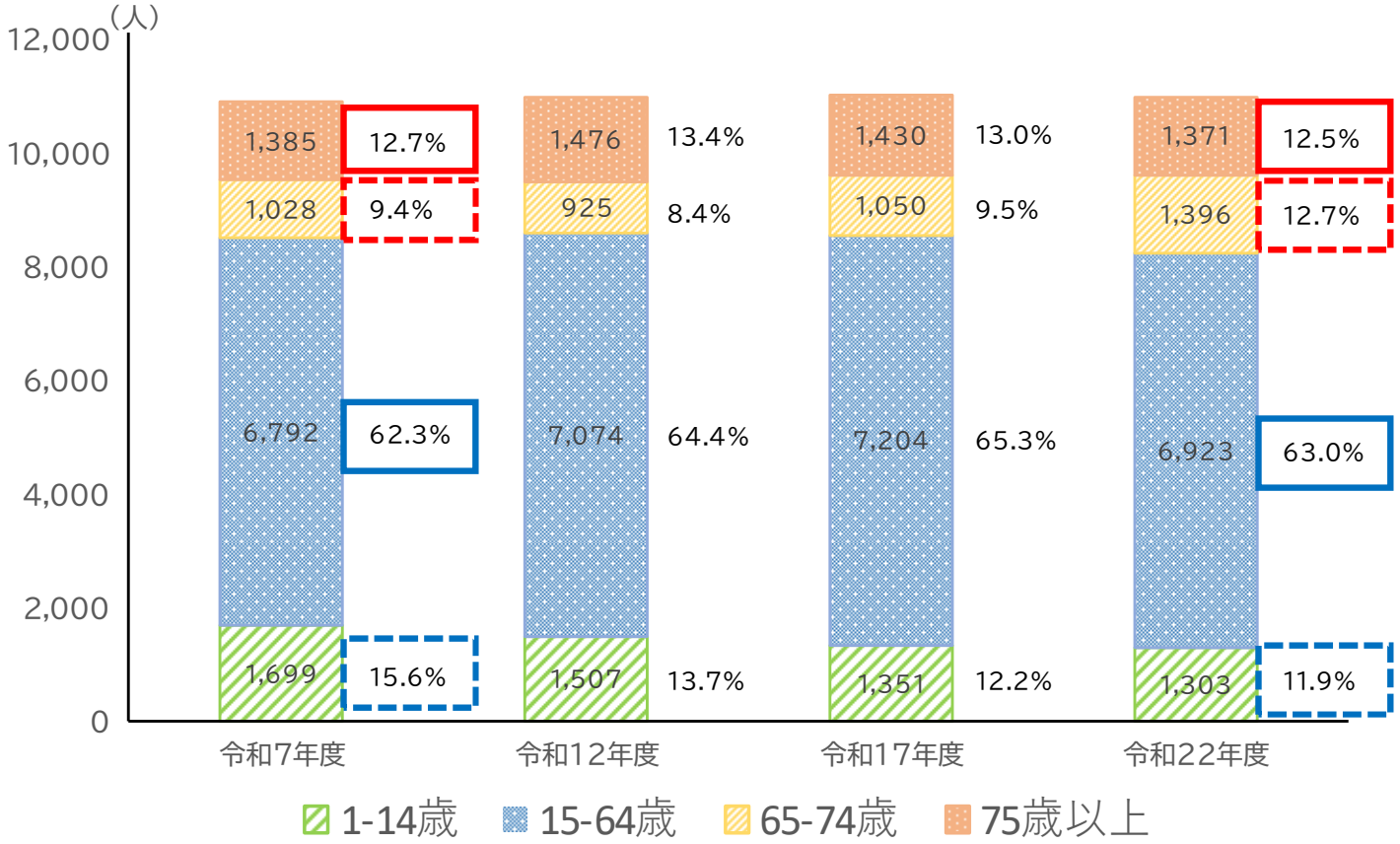
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

城南地区の人口推計について

【城南地区の人口推計について】

城南地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、17.0ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、15.8ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



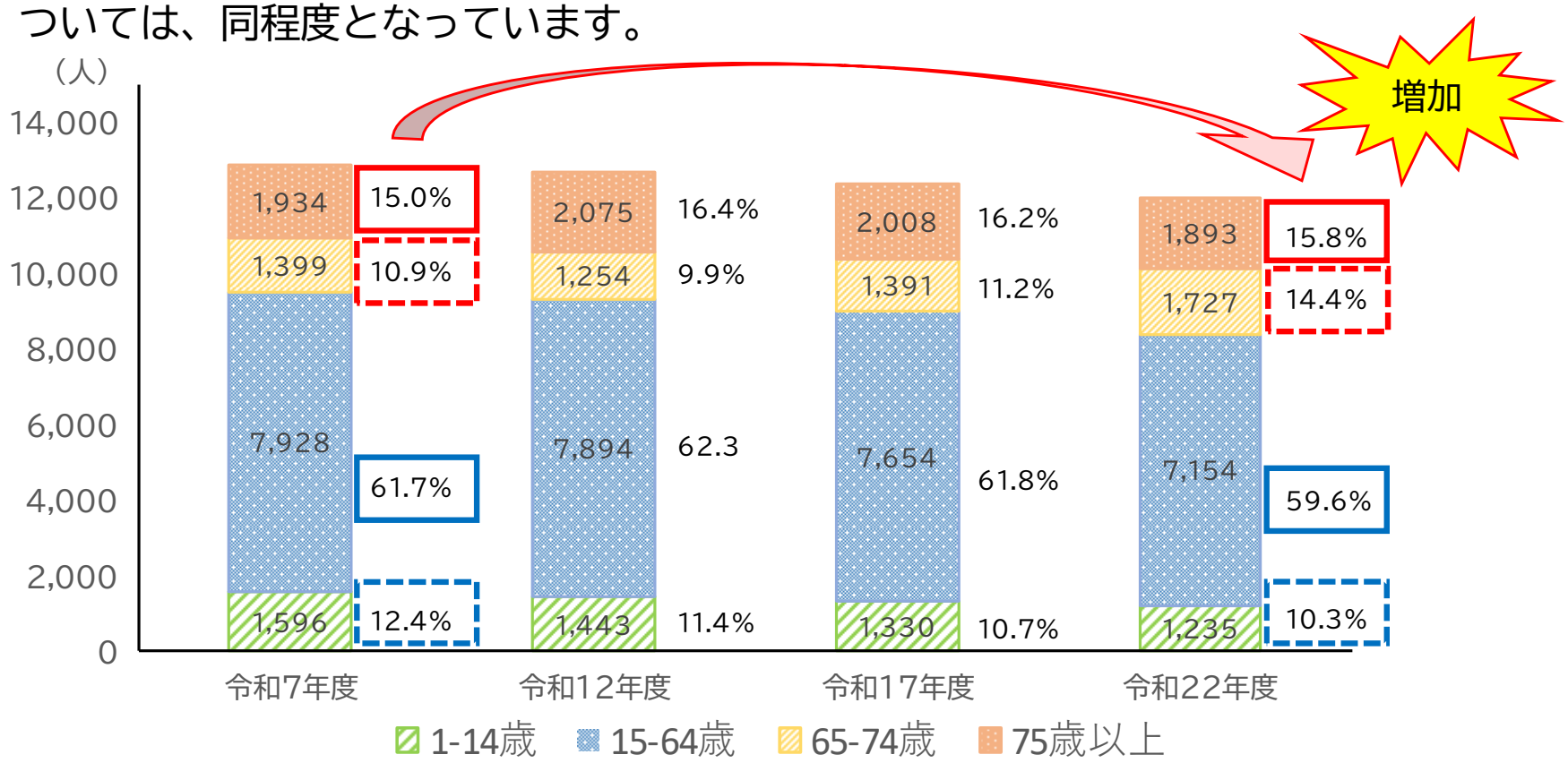
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

土器地区の人口推計について

【土器地区の人口推計について】

土器地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、13.6ポイントの差となっています。 一方で65-74歳の割合は低く、14.1ポイントの差となっています。また、 75歳以上については、同程度となっています。



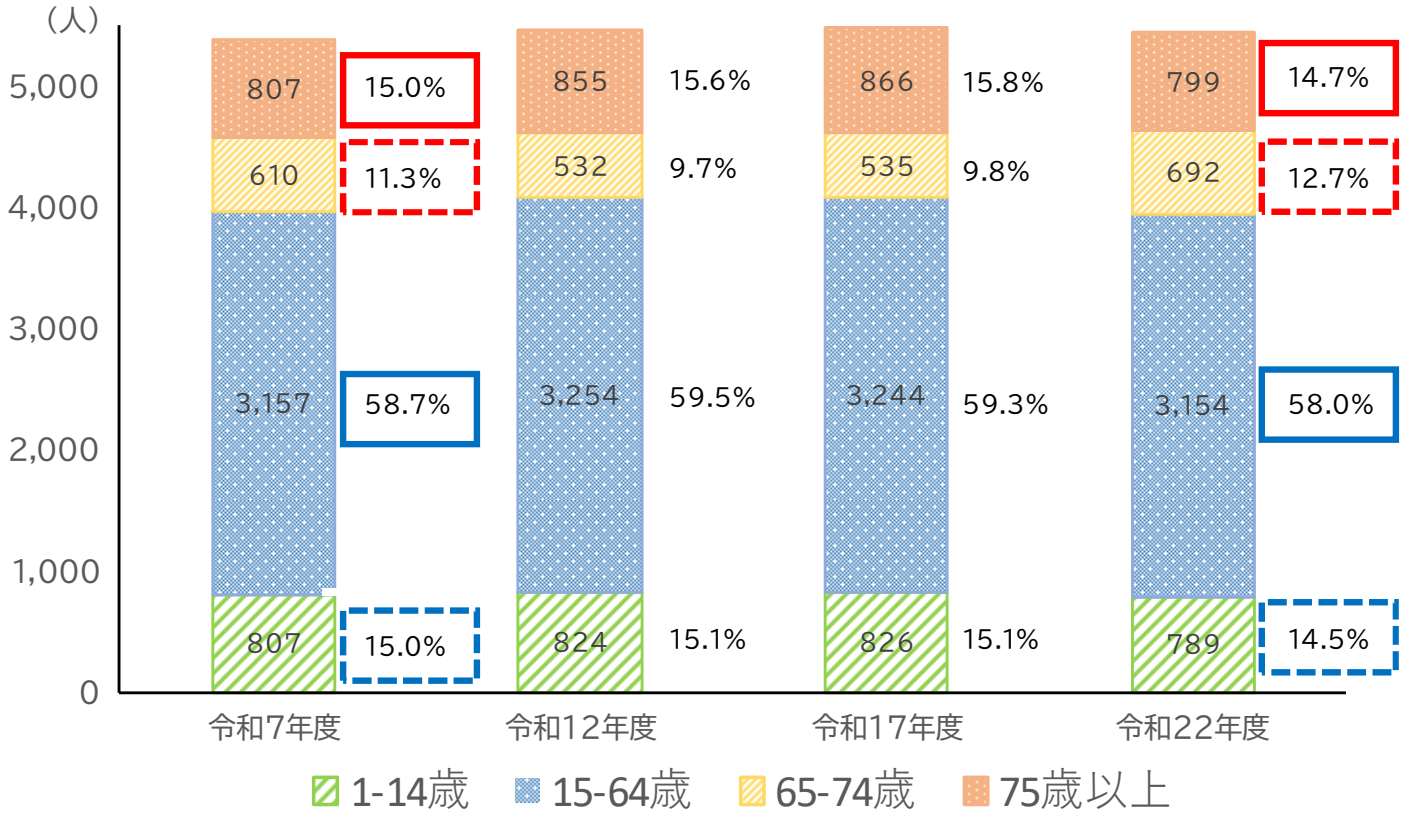
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

飯野地区の人口推計について

【飯野地区の人口推計について】

飯野地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、12.0ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、15.8ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



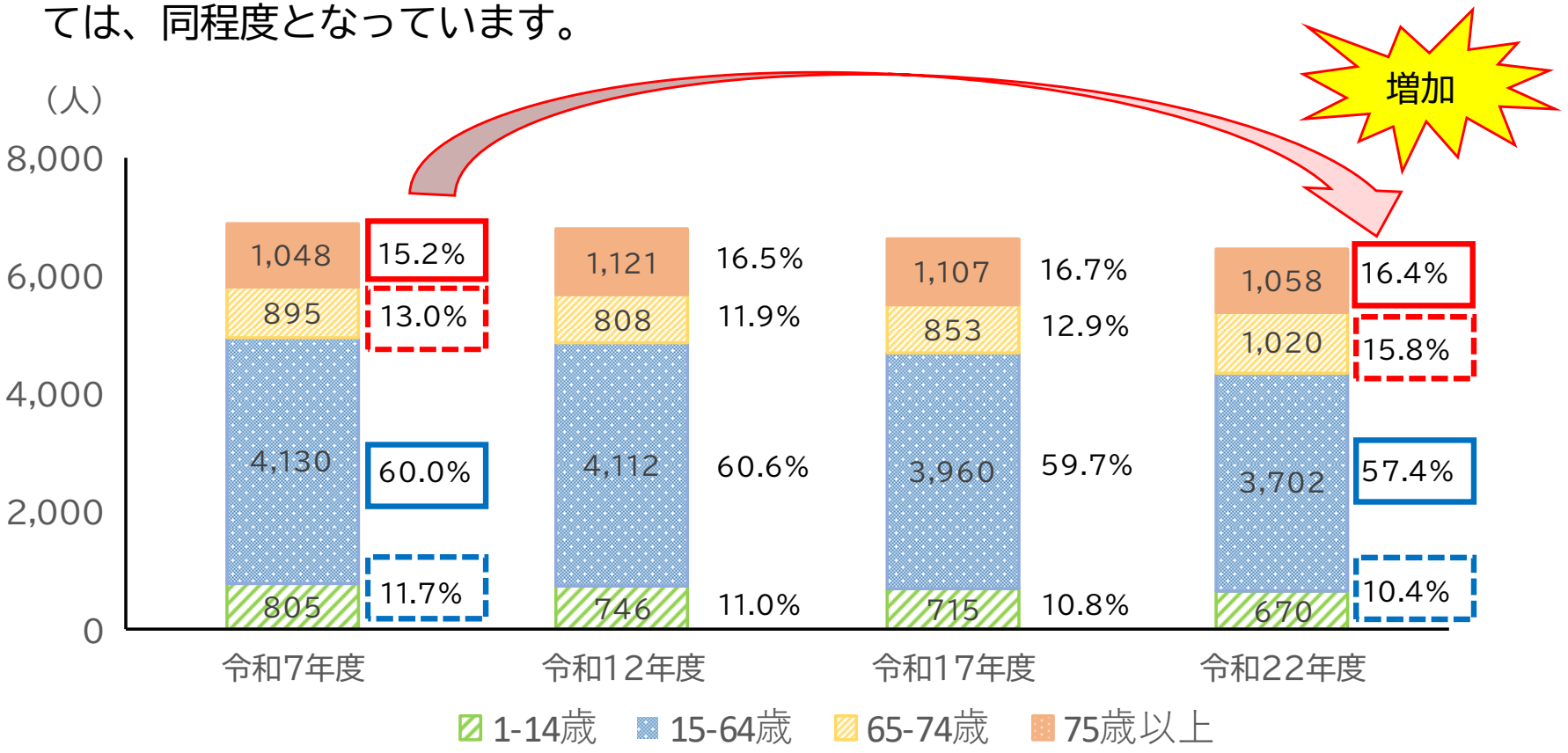
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

川西地区の人口推計について

【川西地区の人口推計について】

川西地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、11.4ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、12.7ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



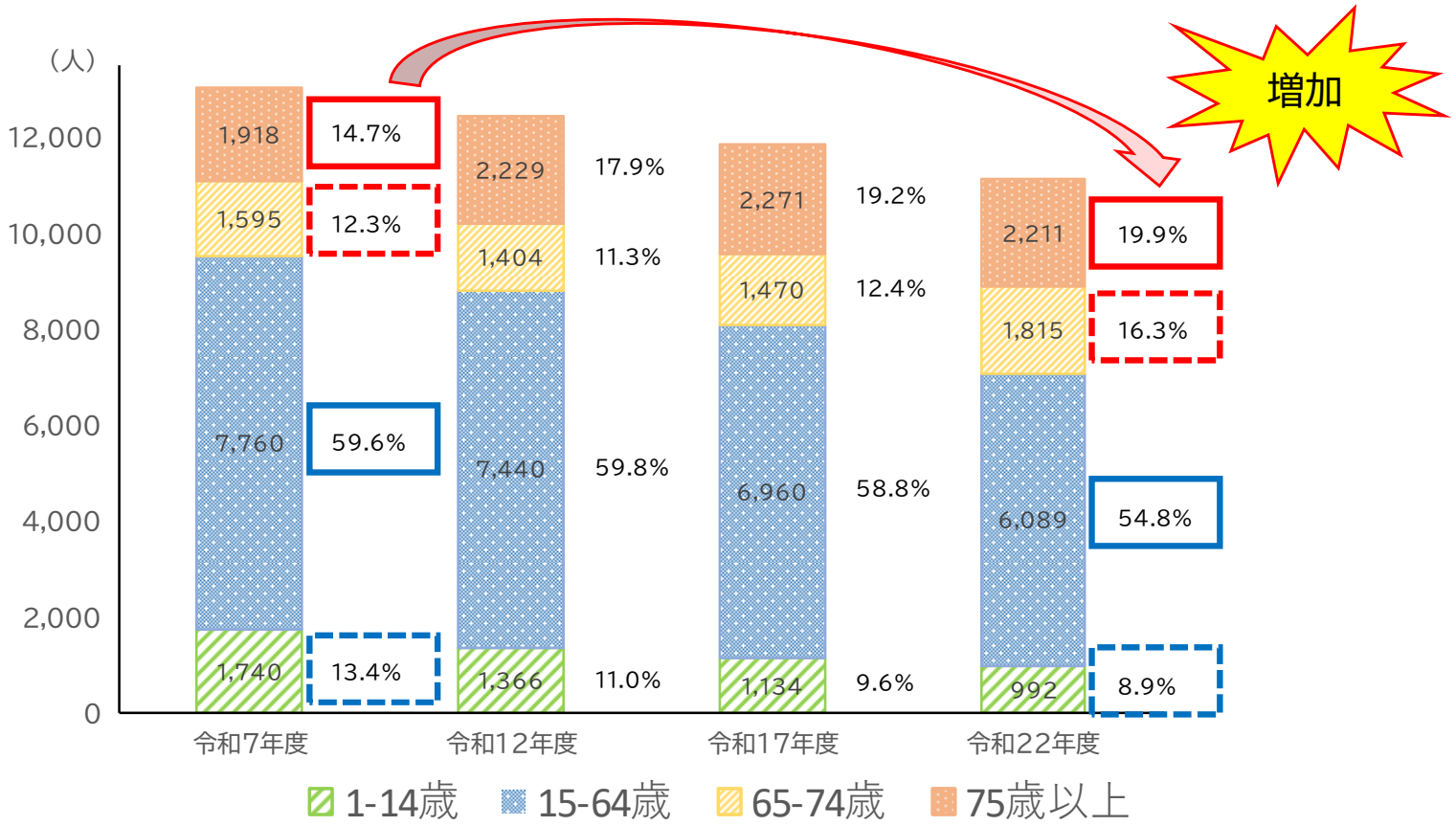
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

郡家地区の人口推計について

【郡家地区の人口推計について】

郡家地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、8.8ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、12.2ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



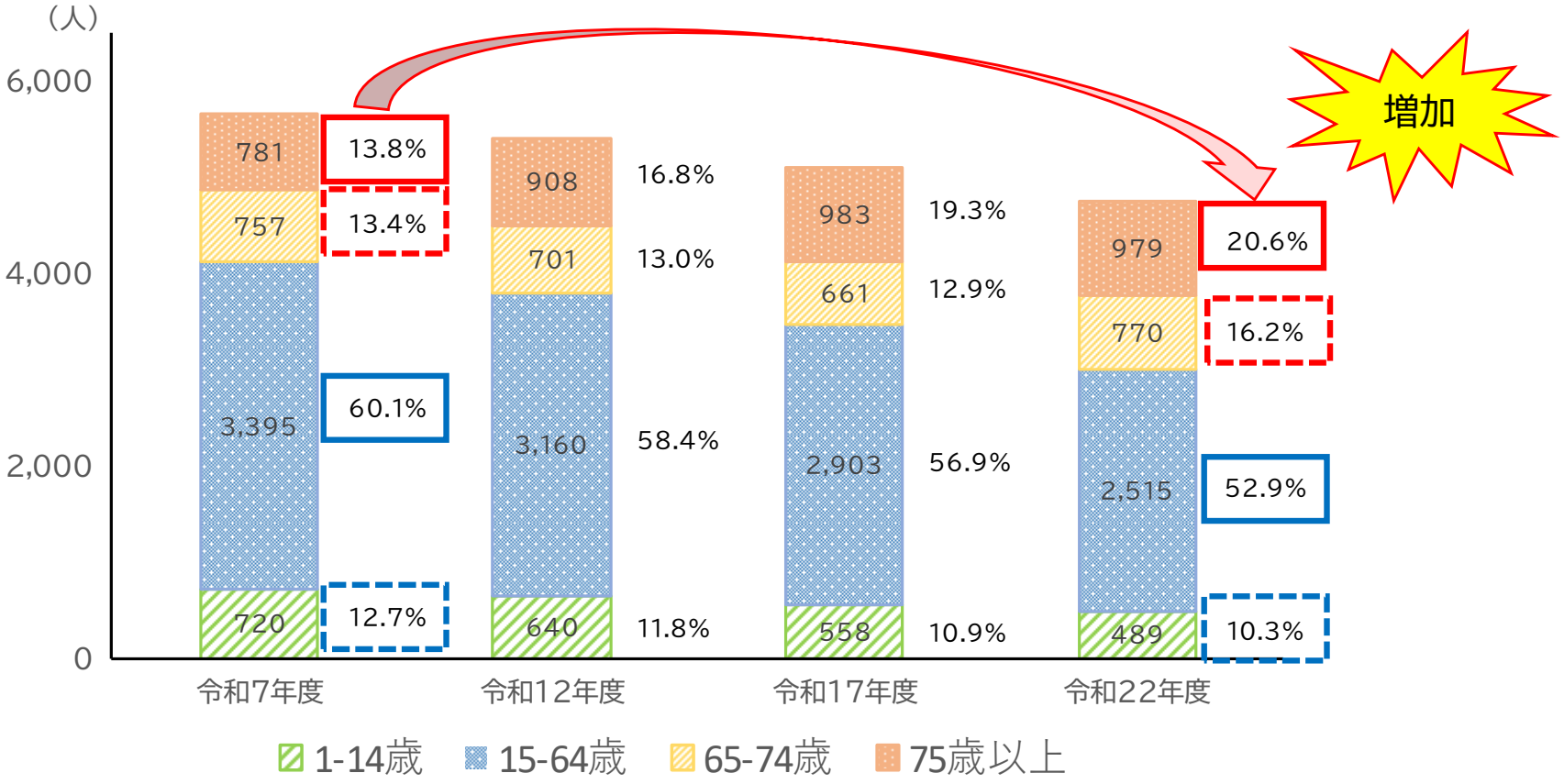
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

垂水地区の人口推計について

【垂水地区の人口推計について】

垂水地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、6.9ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、12.3ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



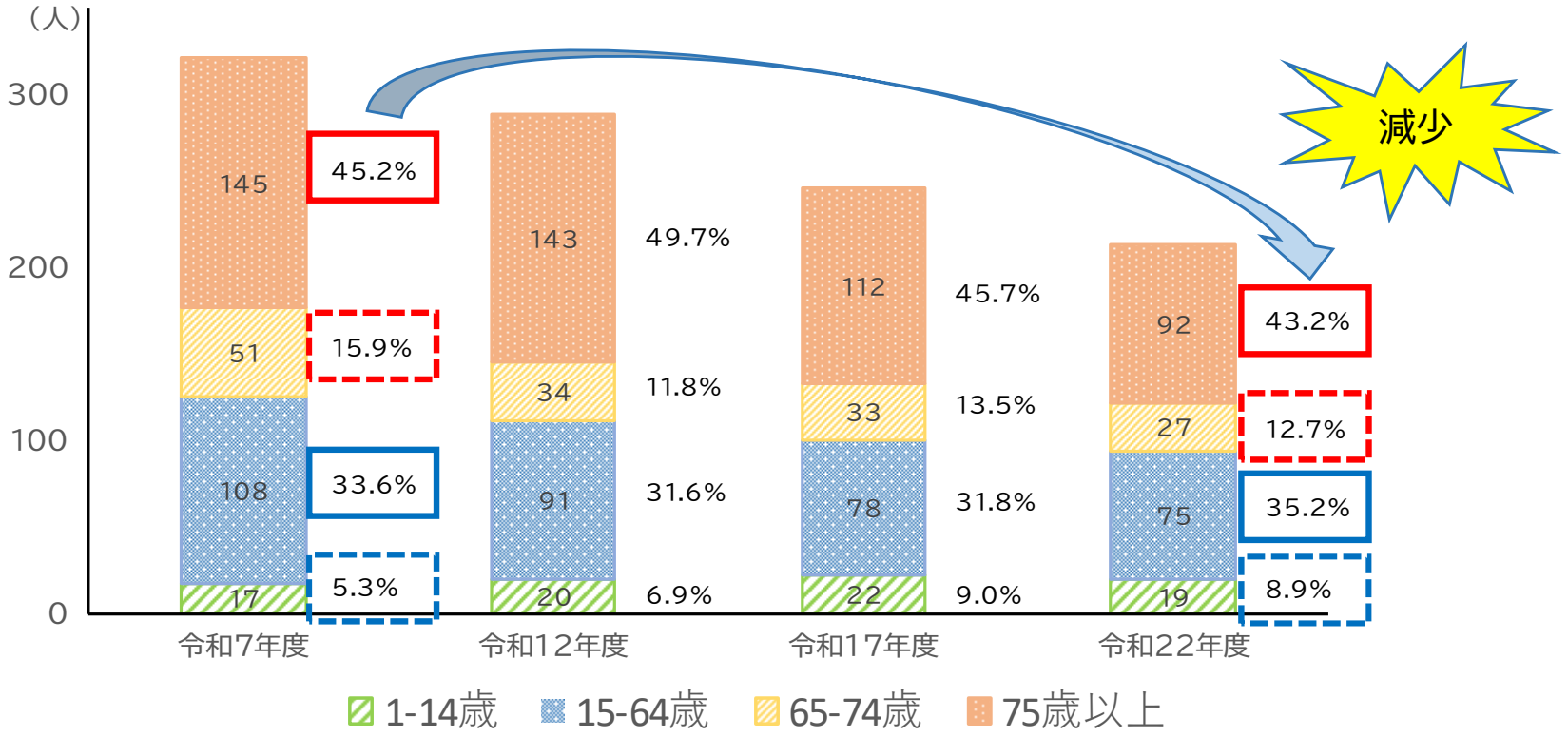
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

本島地区の人口推計について

【本島地区の人口推計について】

本島地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて75歳以上の割合が高く、27.0ポイントの差となっています。一方で15-64歳、65-74歳の割合は低く、それぞれ10.8ポイント、15.8ポイントの差となっています。



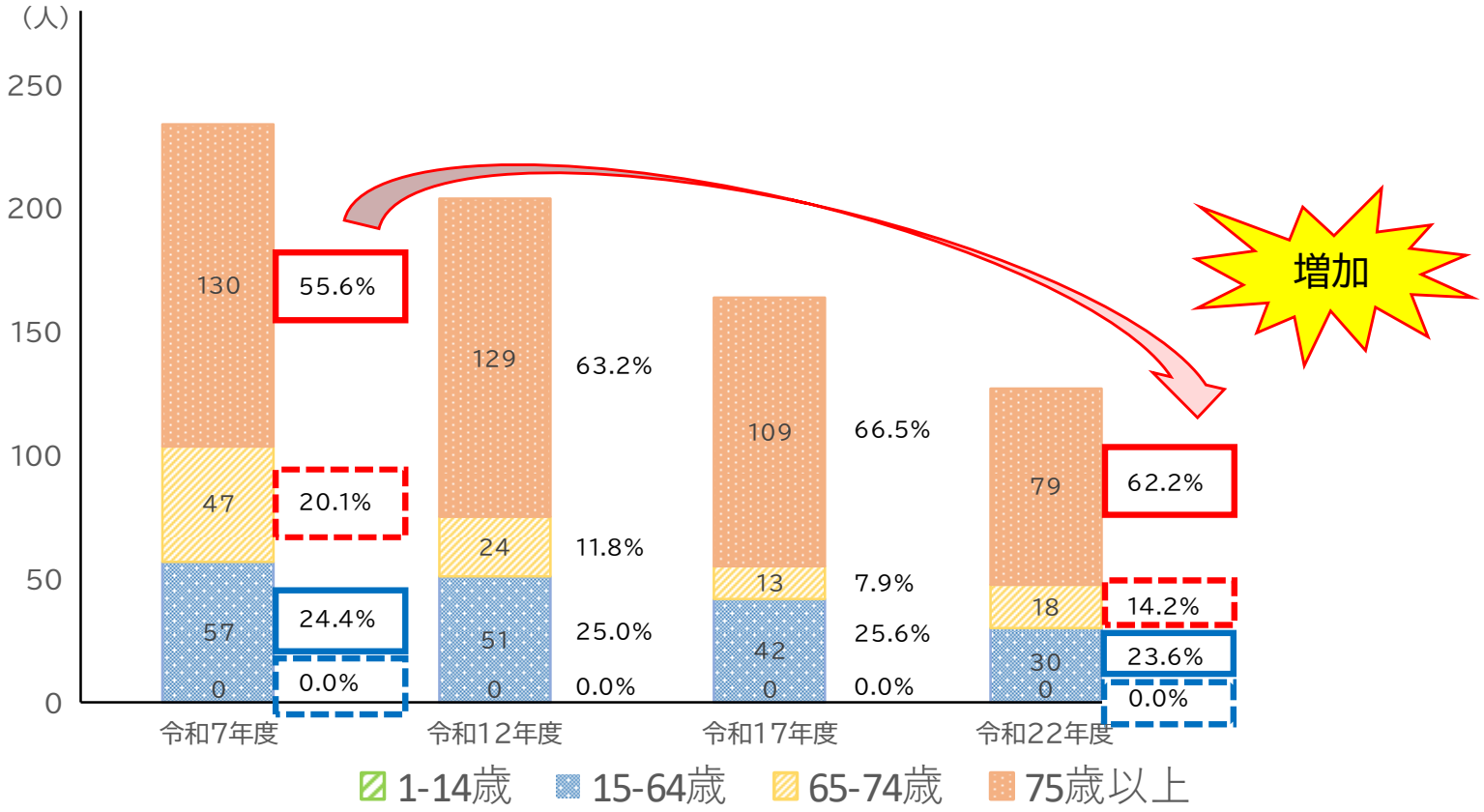
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

広島地区の人口推計について

【広島地区の人口推計について】

広島地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて75歳以上の割合が高く、46.0ポイントの差となっています。一方で15-64歳、65-74歳の割合は低く、それぞれ22.4ポイント、14.3ポイントの差となっています。



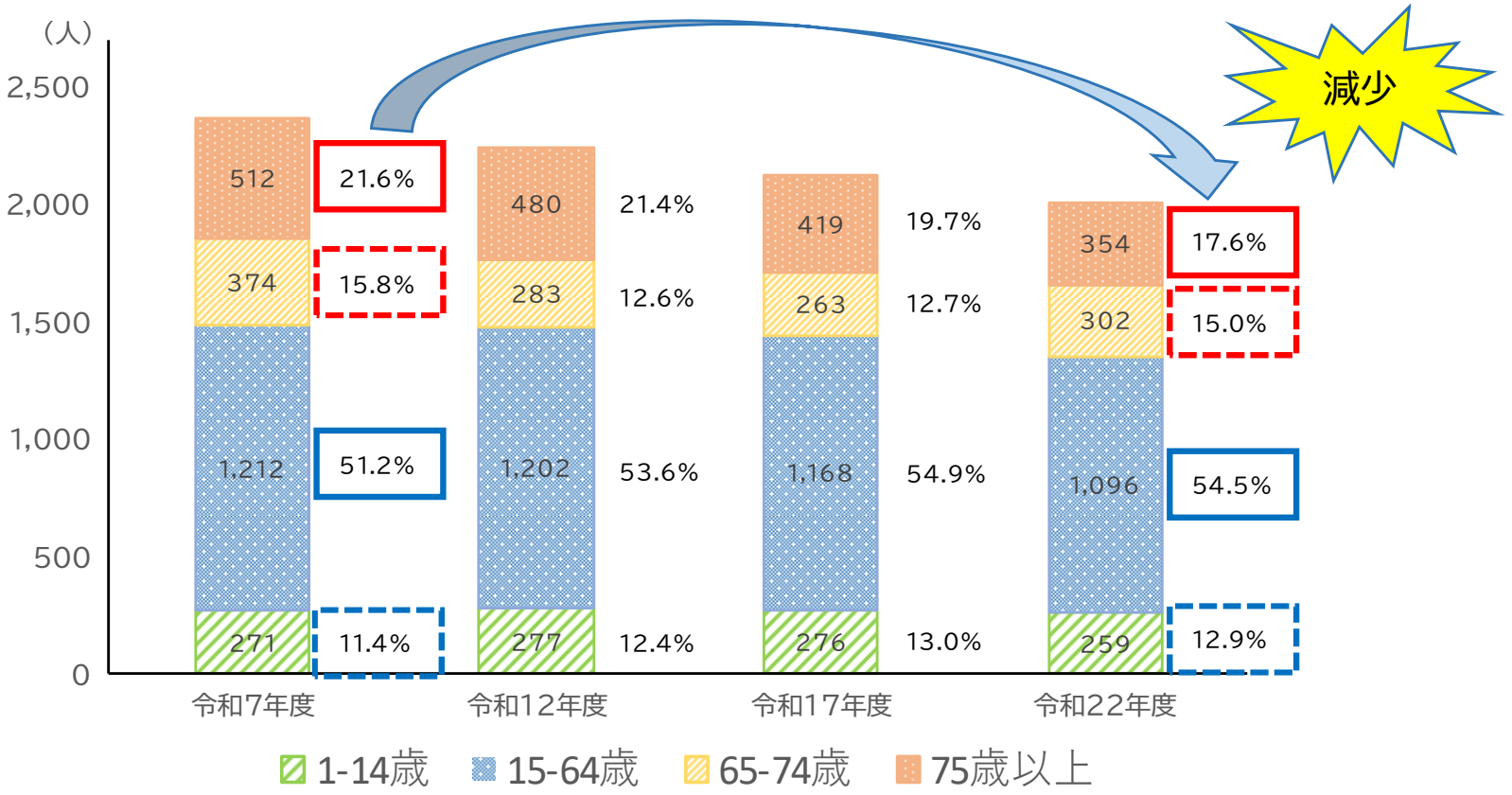
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

栗熊地区の人口推計について

【栗熊地区の人口推計について】

栗熊地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、8.5ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、13.5ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



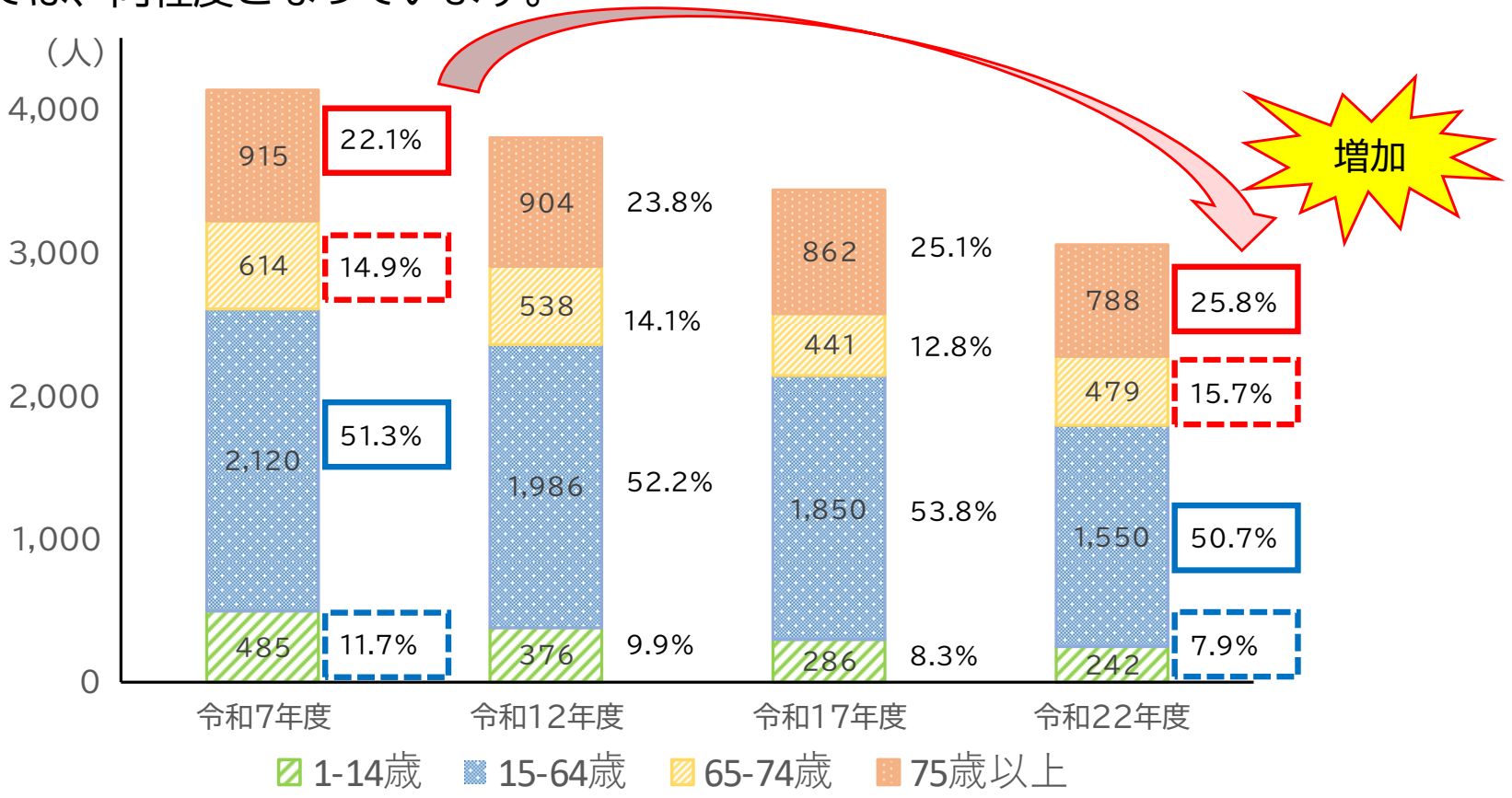
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

岡田地区の人口推計について

【岡田地区の人口推計について】

岡田地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて75歳以上の割合が高く、9.6ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、12.8ポイントの差となっています。　また、 15-64歳については、同程度となっています。



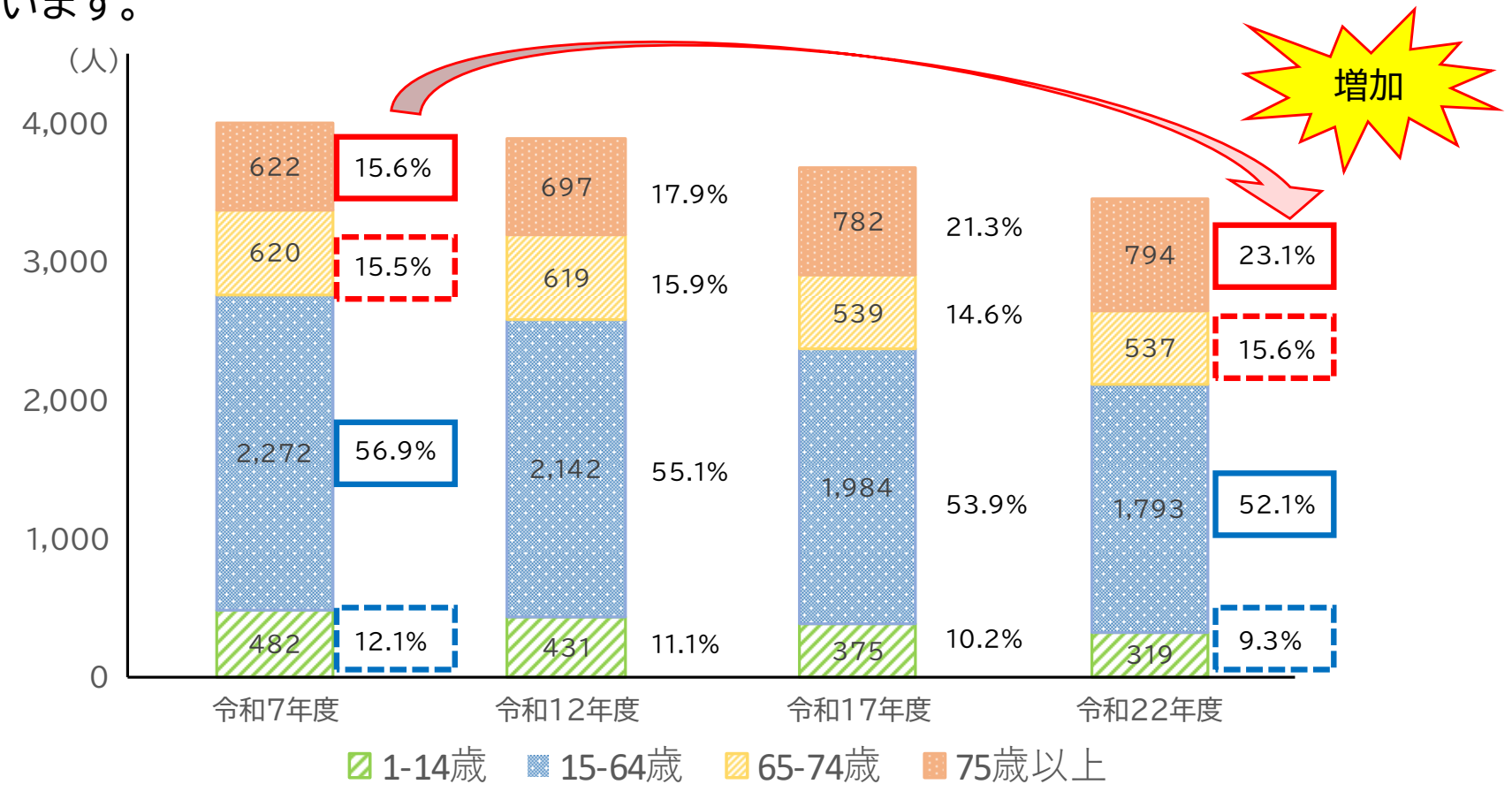
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

富熊地区の人口推計について

【富熊地区の人口推計について】

富熊地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳、75歳以上の割合が高く、それぞれ6.1ポイント、6.9ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、12.9ポイントの差となっています。



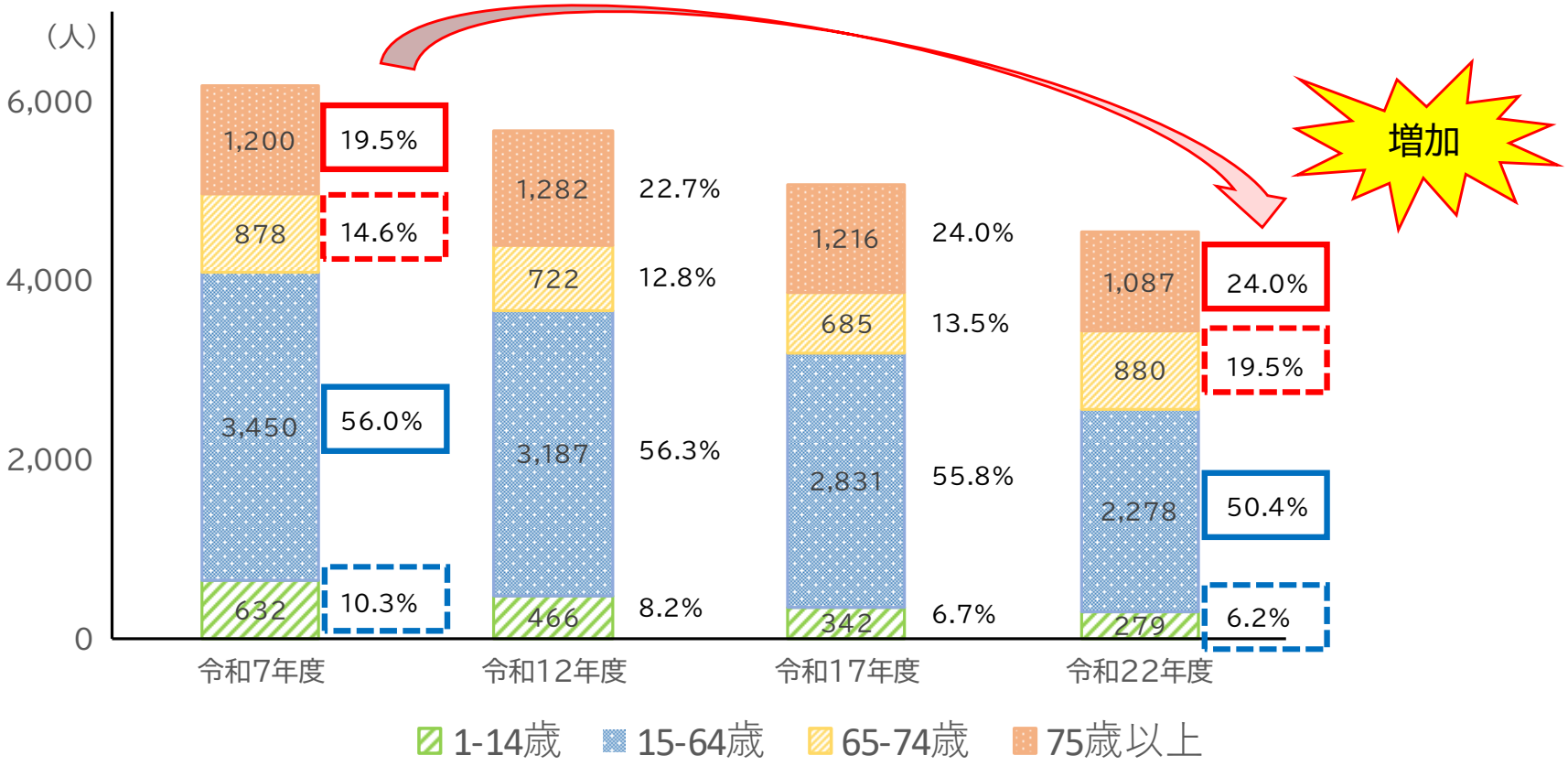
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

飯山南地区の人口推計について

【飯山南地区の人口推計について】

飯山南地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べての75歳以上割合が高く、7.8ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、9.0ポイントの差となっています。また、15-64歳については、同程度となっています。



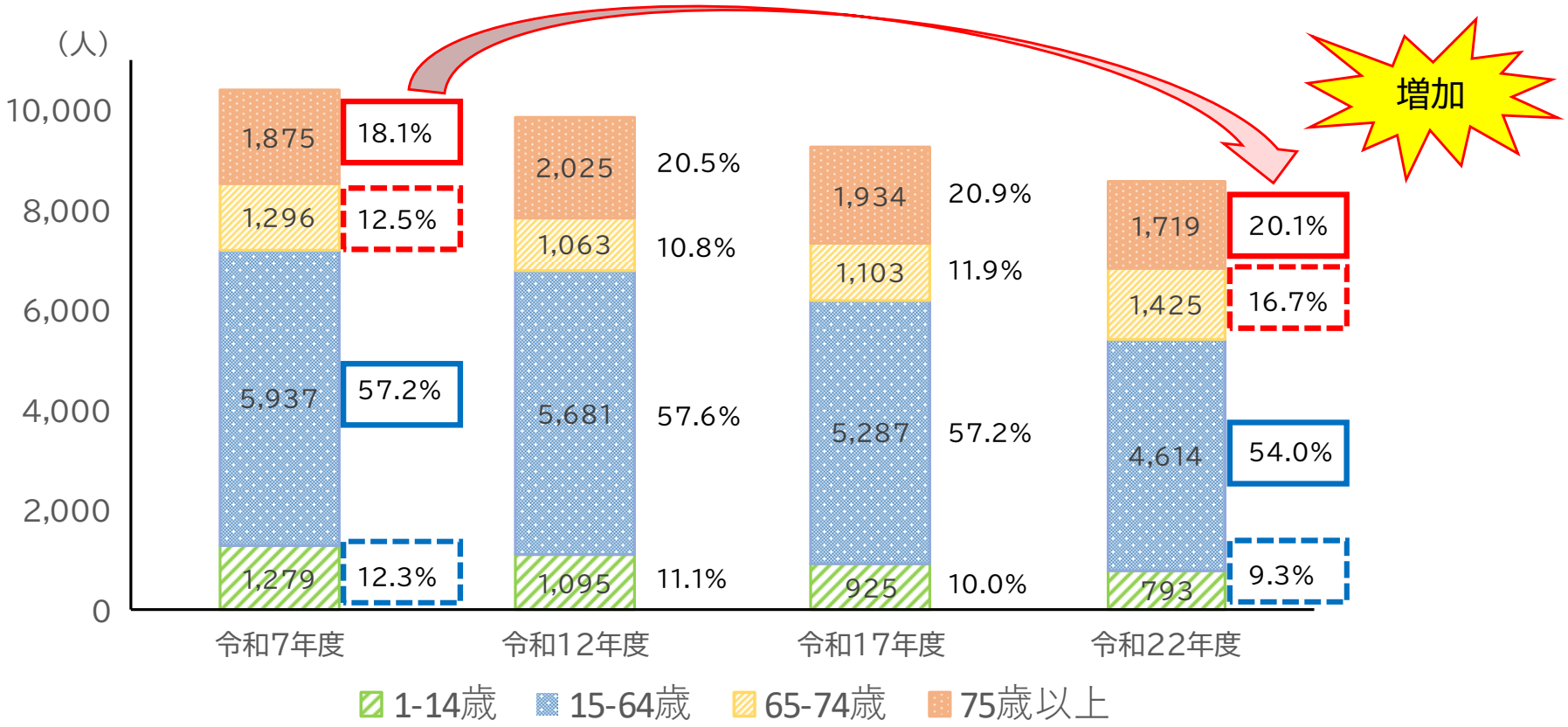
資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計

飯山北地区の人口推計について

【飯山北地区の人口推計について】

飯山北地区の年齢４区分の人口は以下の通りです。

全市に比べて15-64歳の割合が高く、8.0ポイントの差となっています。一方で65-74歳の割合は低く、11.8ポイントの差となっています。また、75歳以上については、同程度となっています。



資料：住民基本台帳よりコーホート変化率法にて推計